

対策工標準断面図
(断面9)

1:50 (A1)
1:100 (A3)

640

630

620

市道

突出長3007

2805

2262

余裕高
500
2000

必要棚高=2500

エネルギー吸収型軽量落石防護柵

H=2.5m, L=33m

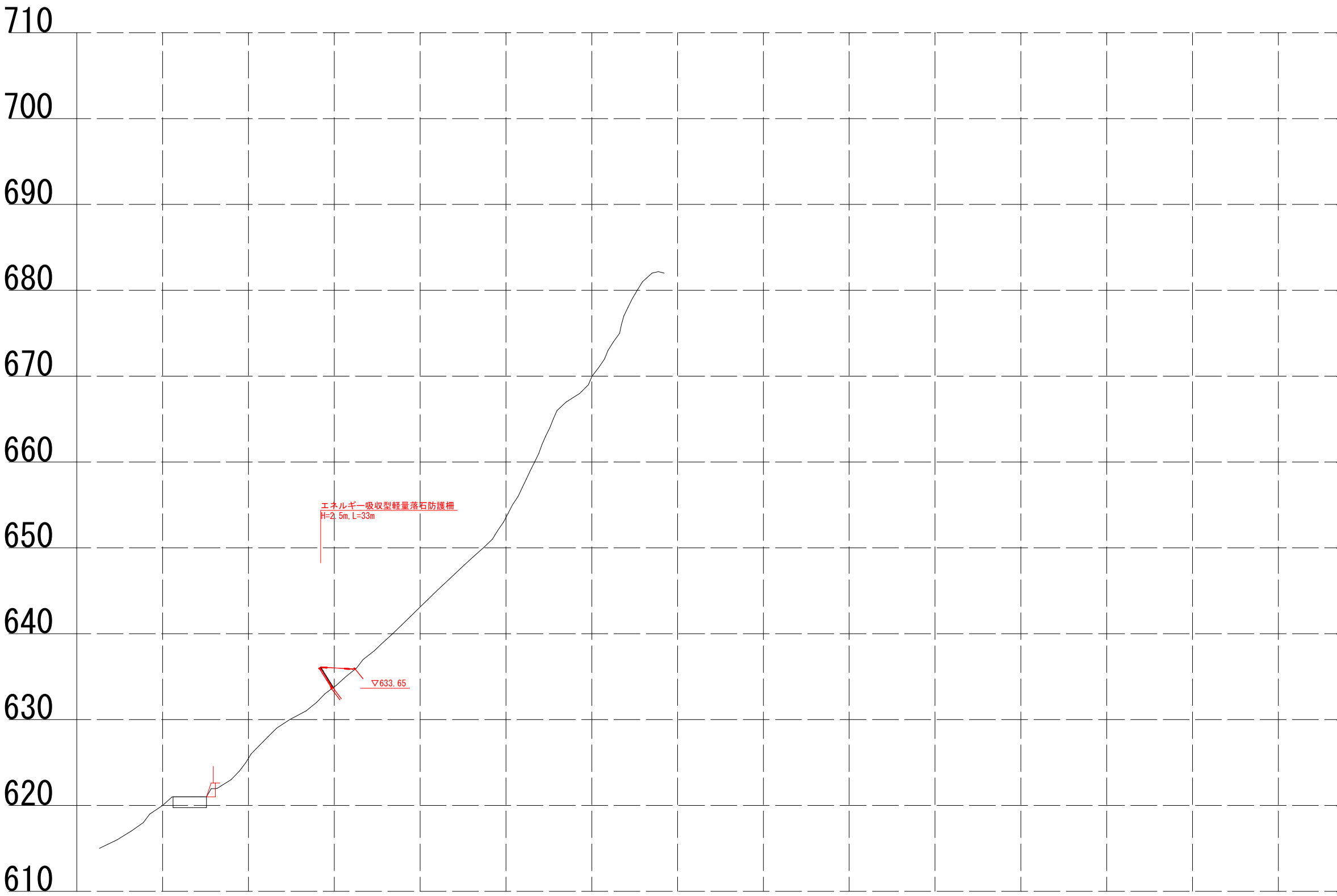
落石防護柵

H=3.0m, L=15m

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	対策工標準断面図 (断面9)		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)	図面番号	2
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

対策工横断図（断面7）

1:250 (A1)
1:500 (A3)

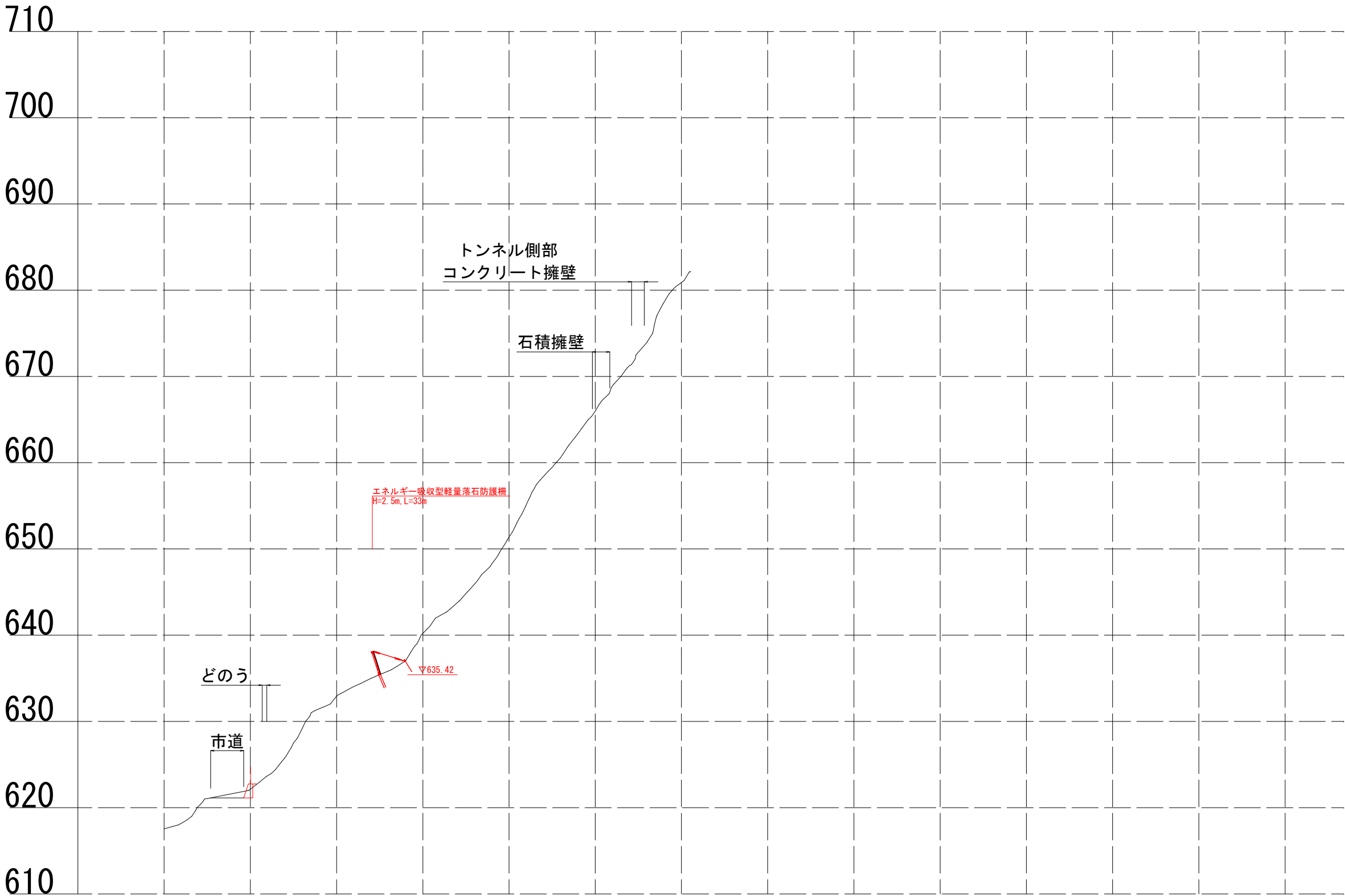


断面7

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	対策工横断図（断面7）		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	図面番号	3
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

対策工横断図（断面10）

1:250 (A1)
1:500 (A3)

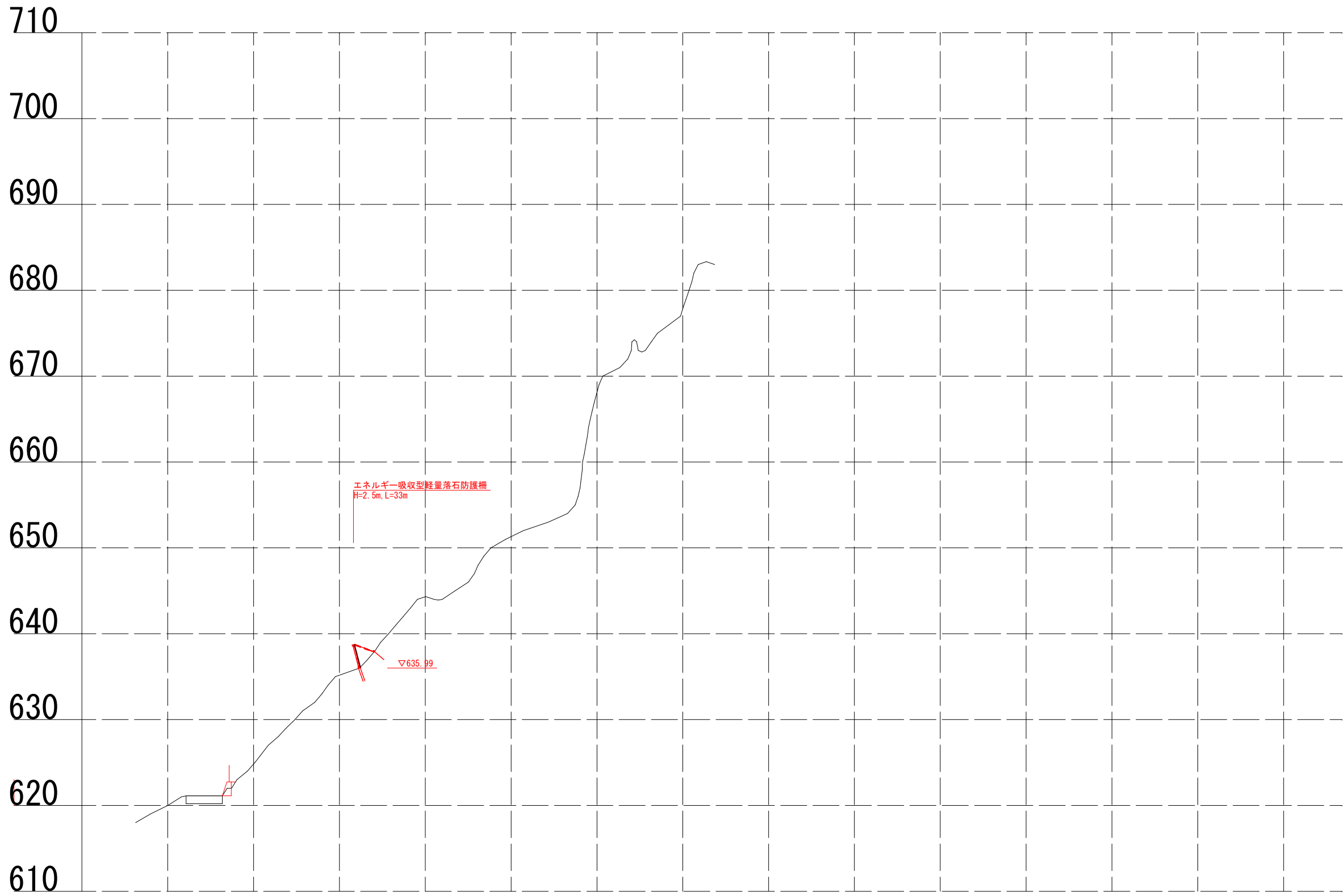


断面10

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	対策工横断図（断面10）		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	図面番号	4
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

対策工横断図（断面6）

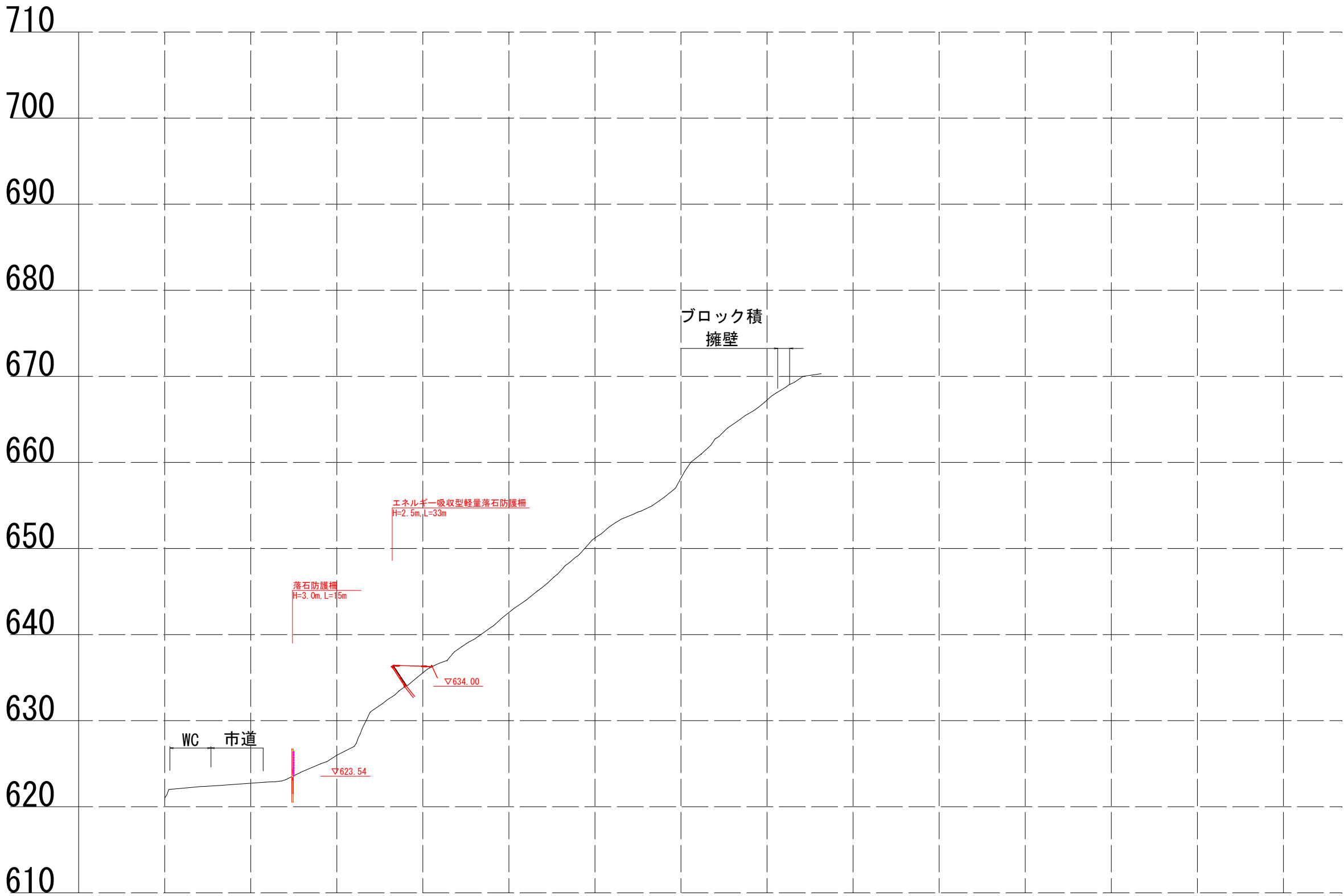
1:250 (A1)
1:500 (A3)



工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	対策工横断図（断面6）		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	図面番号	5
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

対策工横断図（断面9）

1:250 (A1)
1:500 (A3)

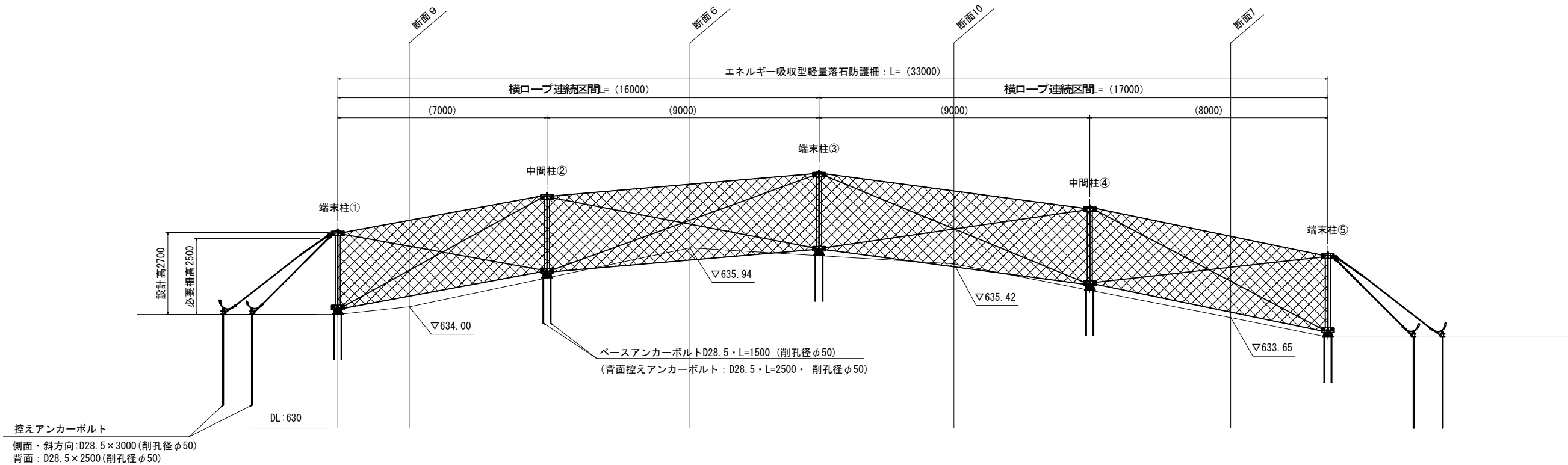


断面9

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	対策工横断図（断面9）		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	図面番号	6
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

エネルギー吸収型軽量落石防護柵 展開図

1: 75 (A1)
1:150 (A3)



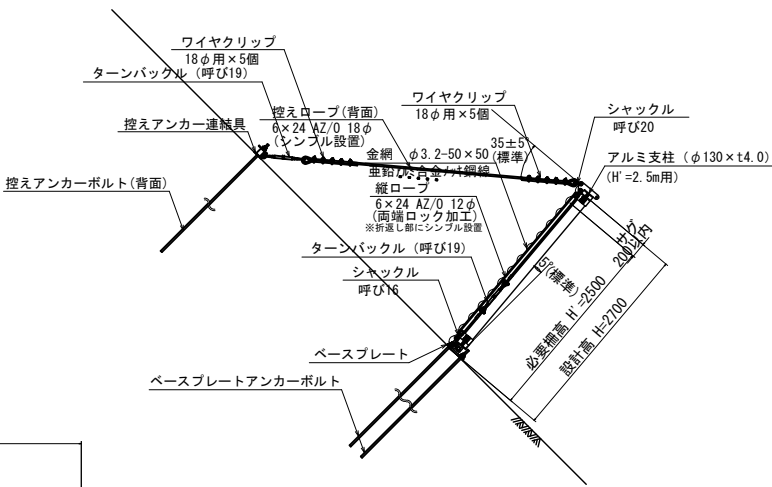
※ ()内は、斜距離を示す。
※支柱設置位置、計画範囲、各種控えロープ長等は、丁張測量にて確定すること。
※アンカー長は、現地確認の上確定すること。

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	エネルギー吸収型軽量落石防護柵 展開図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1: 75 (A1) 1:150 (A3)	図面番号	7
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

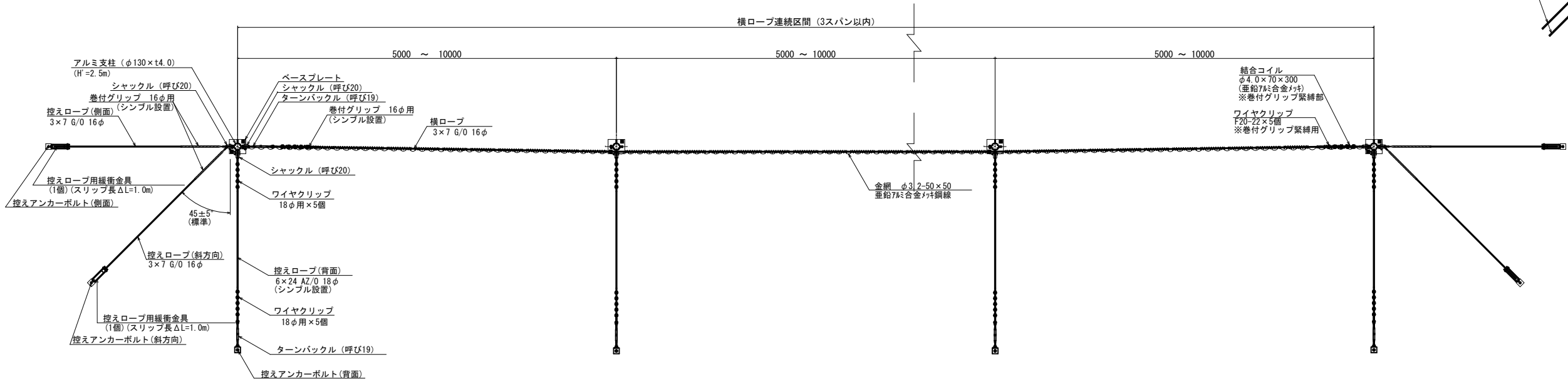
エネルギー吸収型軽量落石防護柵 一般構造図

1: 50 (A1)
1:100 (A3)

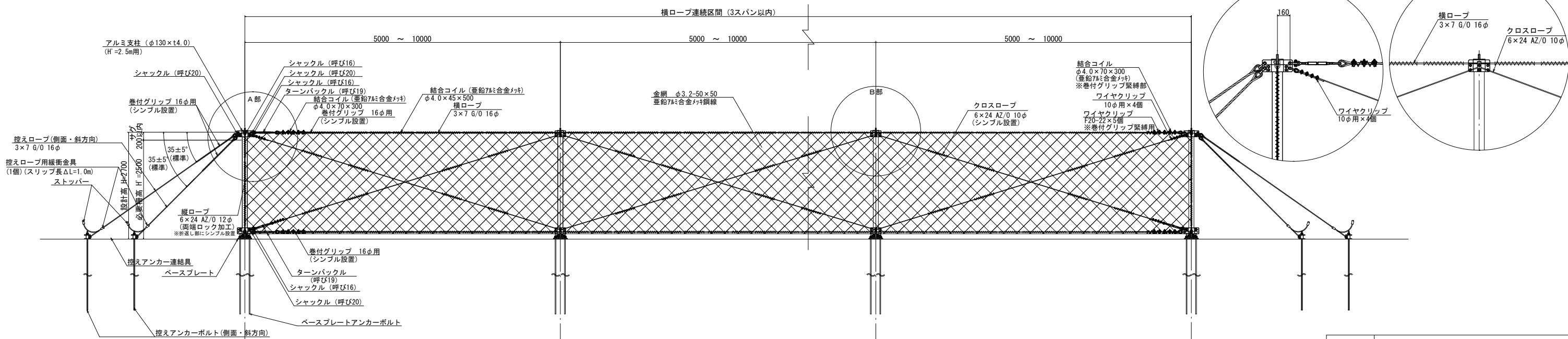
側 面 図



平 面 図



正 面 図 (山側より)



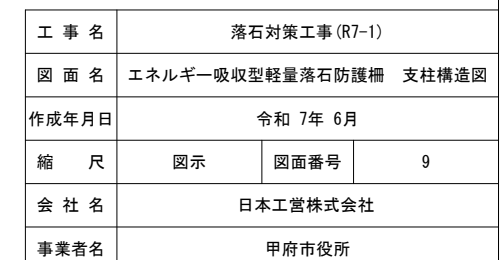
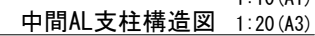
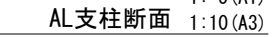
規 格 表 (参考) ※下記の形式と同等品以上とする。

可能吸収 エネルギー	形 式	金網規格	支 柱	緩衝金具				縦ロープ
				横ロープ	クロスロープ	控えロープ		
						背面	側面・斜方向	
100kJ	ULF - TYPE - R 100-250	ニューサンAZカー鋼線 φ3.2-50×50	7φミ支柱 (φ130×t4.0) (着色仕様)	3×7 G/O 16φ —	6×24 AZ/O 10φ —	6×24 AZ/O 18φ —	3×7 G/O 16φ ULF-US (1個)	6×24 AZ/O 12φ

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	エネルギー吸収型軽量落石防護柵 一般構造図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1: 50 (A1) 1:100 (A3)	図面番号	8
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

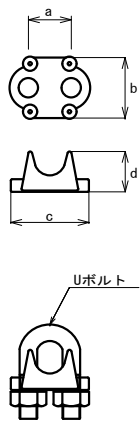
($\phi 130 \times t 4.0$ 着色仕様 H=2.5m用)

末端AL支柱構造図 1:20 (A3)



エネルギー吸収型軽量落石防護柵 部材詳細図

ワイヤクリップ

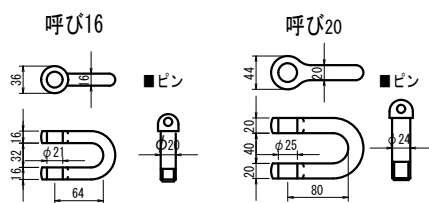


規 格	本 体 寸 法					取付個数・間隔		摘 要
	a	b	c	d	Uボルト	個数	間隔	
10φ用	22	35	45	23	M10	4	70	クロスロープ
18φ用	34	53	62	37	M14	5	120	控えロープ（背面）
F20-22	44	62	78	43	M18	5	130	横ロープ（巻付クリップ）

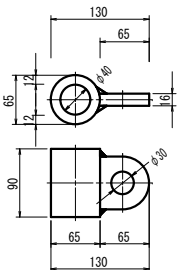
ワイヤロープシンプル

規 格	L	摘 要
10φ用	58	クロスロープ
12φ用	68	縦ロープ 折返し部
16φ用	92	横ロープ 控えロープ（側面・斜方向）
18φ用	100	控えロープ（背面）

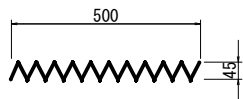
シャックル 1: 5 (A1)
1: 10 (A3)



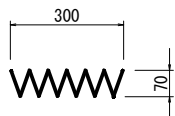
アンカー連結具 1: 5 (A1)
1: 10 (A3)



結合コイル
φ4.0×45×500
（亜鉛アルミ合金メッキ）

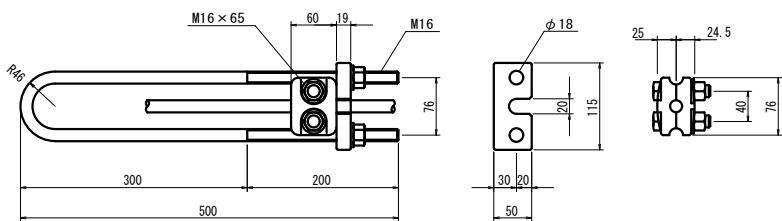


φ4.0×70×300
（亜鉛アルミ合金メッキ）

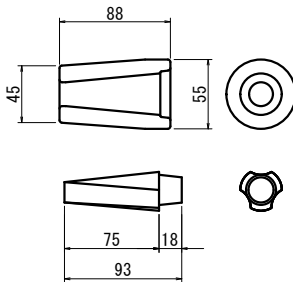


※横ロープ巻付グリップ緊縛部に設置

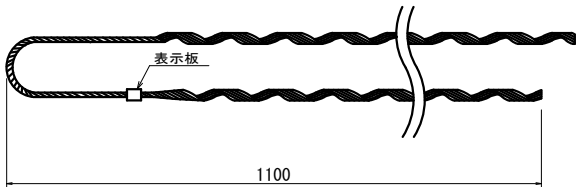
控えロープ用緩衝金具 （1個）
（側面・斜方向）



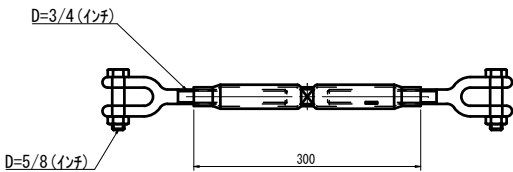
ストッパー 1: 3 (A1)
16φ用 1: 6 (A3)



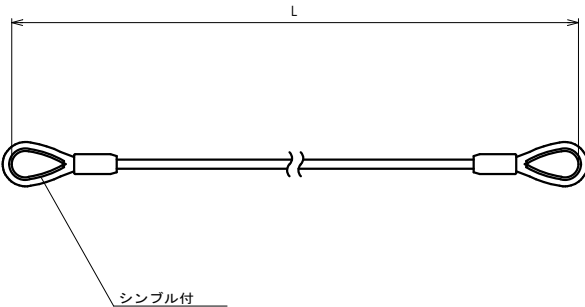
巻付グリップ 16φ用



ターンバックル（呼び19）
3/4×9" 両ジョー



縦ロープ
6×24 AZ/O 12φ
（両端ロック加工）



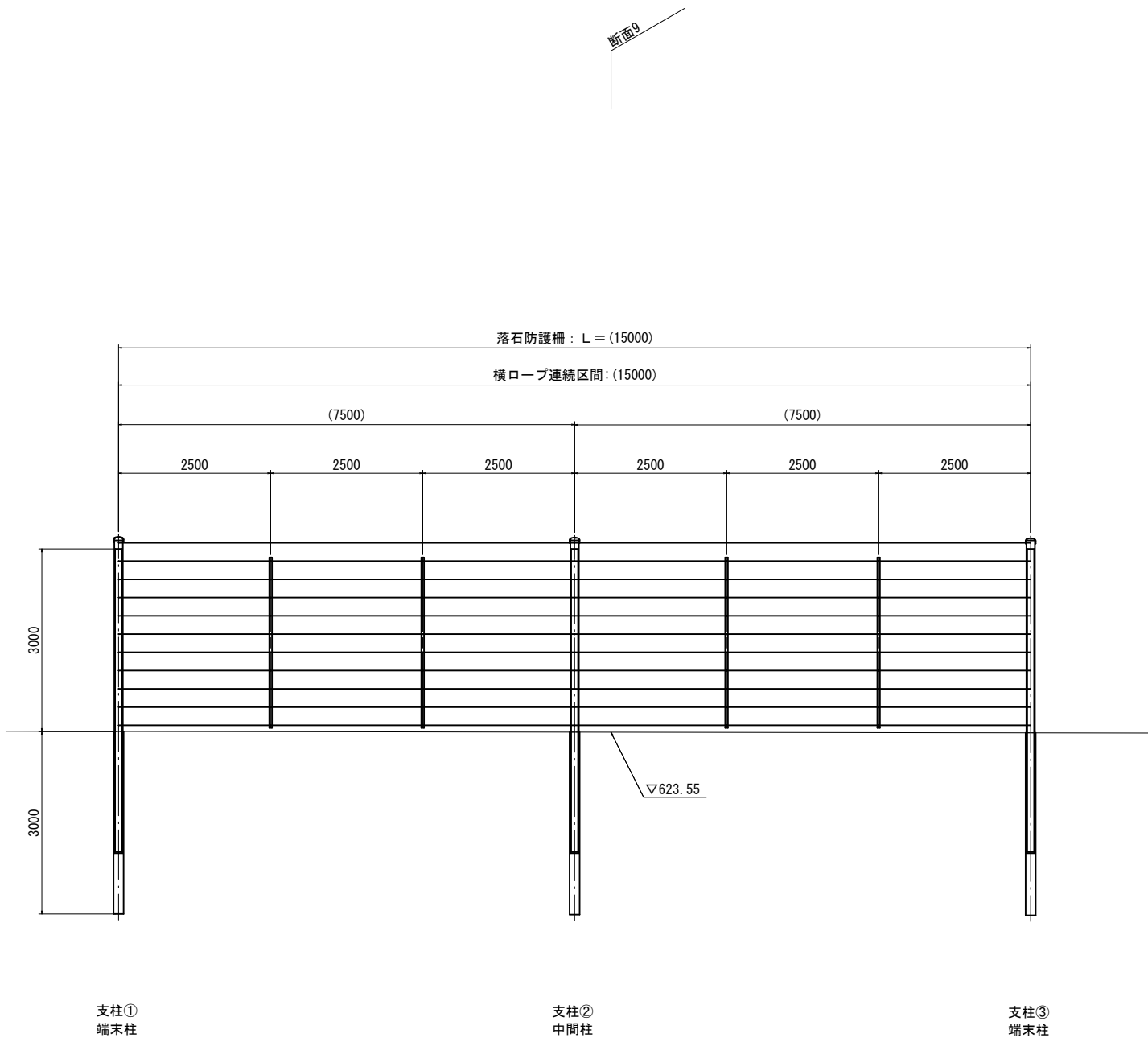
柵高	L
H=3.5m用	6350
H=3.0m用	5350
H=2.5m用	4350
H=2.0m用	3350

※）アルミ支柱φ130用

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	エネルギー吸収型軽量落石防護柵 部材詳細図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	10
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

落石防護柵 展開図
(山側より)

1: 50 (A1)
1:100 (A3)



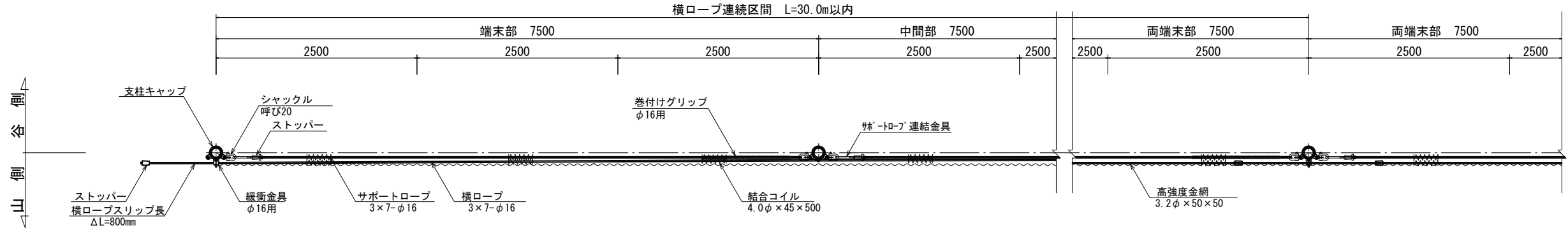
※ () は、斜距離を示す。
※ 支柱設置位置については、現地確認後、再決定すること。

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	落石防護柵 展開図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1: 50 (A1) 1:100 (A3)	図面番号	11
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

落石防護柵 一般構造図

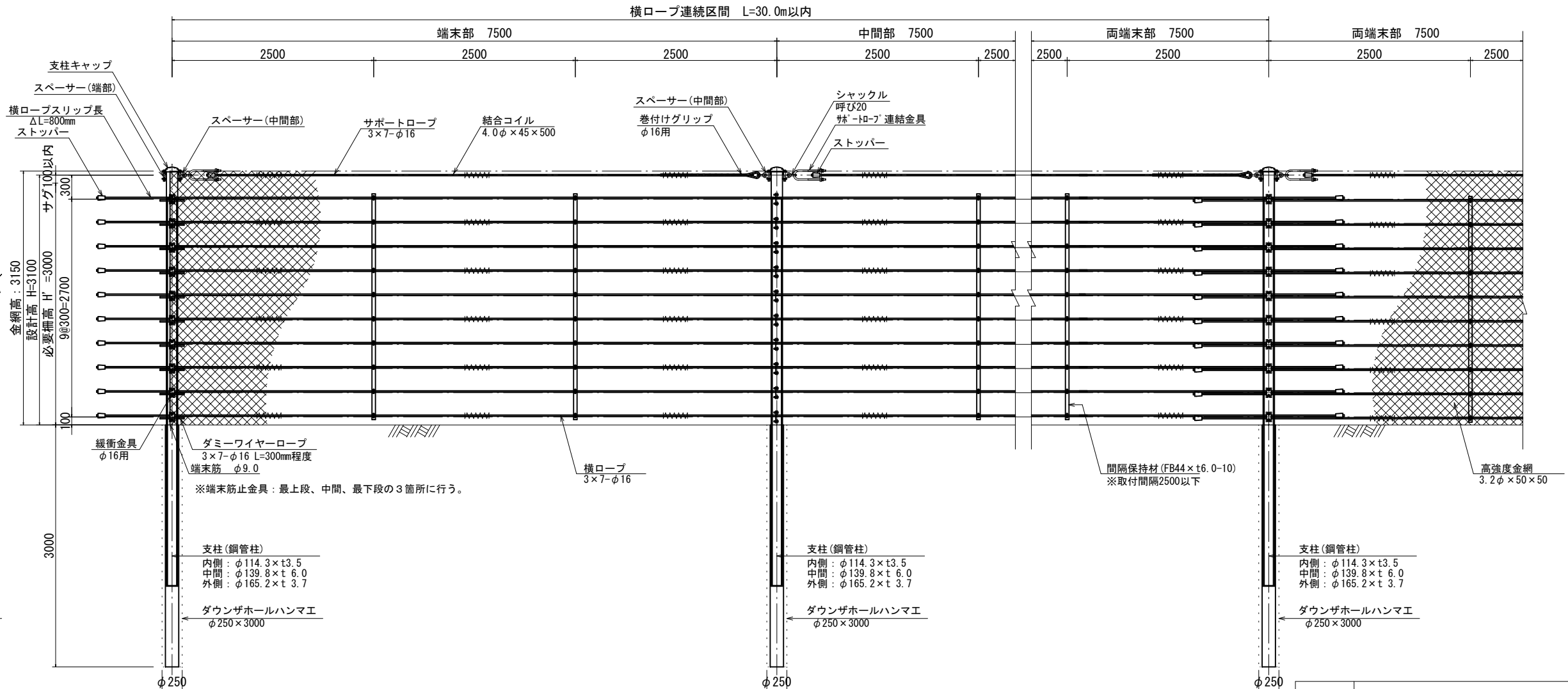
1:30 (A1)
1:60 (A3)

平面図



正面図

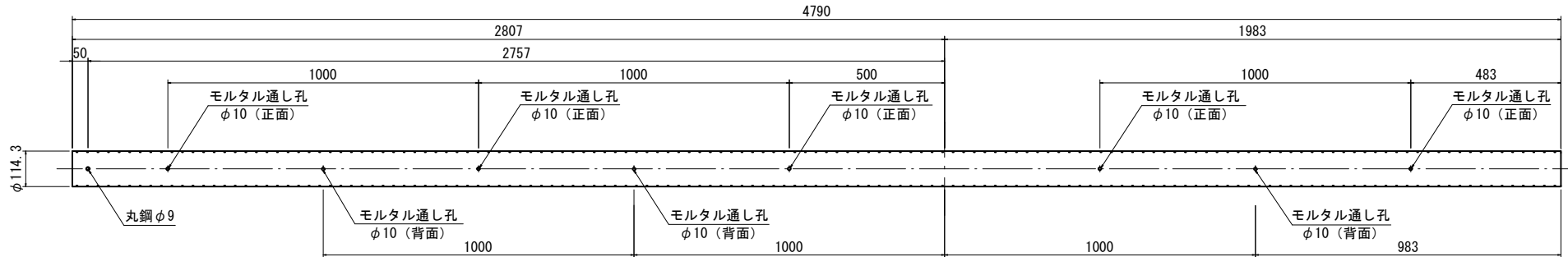
(山側より)



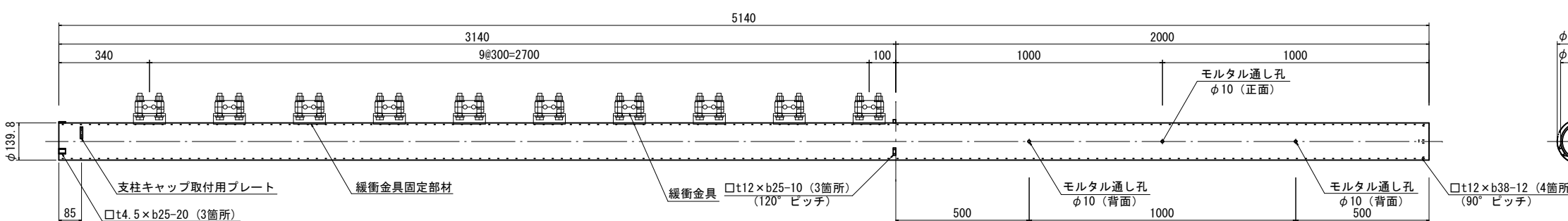
工事名	落石対策工事 (R7-1)		
図面名	落石防護柵 一般構造図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面番号	12
会社名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

落石防護柵 端末用支柱構造図
(着色仕様)

内側鋼管 (φ114.3×t3.5) 1:10 (A1)
1:20 (A3)



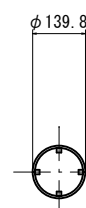
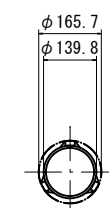
中間鋼管 (φ139.8×t6.0) 1:10 (A1)
1:20 (A3)



※内側鋼管・中間鋼管モルタル通し孔φ10の配置
正面と背面に1.0m間隔で千鳥配置する。

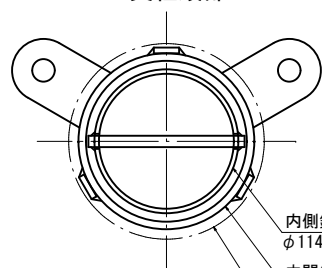
地盤表面部

底部



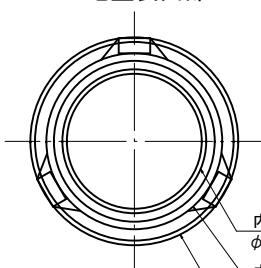
組合せ断面図 1:3 (A1)
1:6 (A3)

＜支柱頭部＞



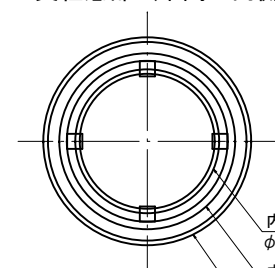
内側鋼管柱
φ114.3×t3.5
中間鋼管柱
φ139.8×t6.0
支柱キャップ内径
φ155.2

＜地盤表面部＞



内側鋼管柱
φ114.3×t3.5
中間鋼管柱
φ139.8×t6.0
外側鋼管柱
φ165.2×t3.7

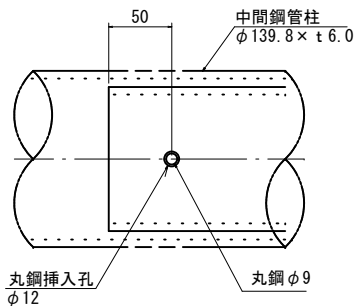
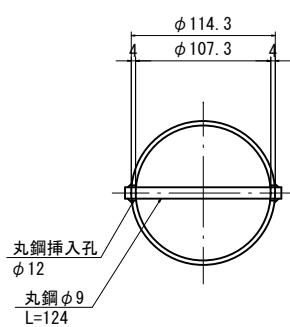
＜支柱底部（中間・内側）＞



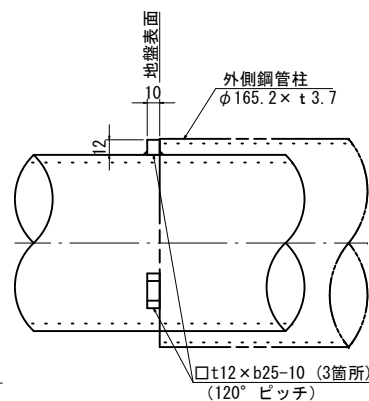
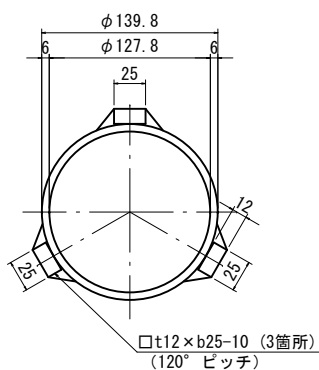
内側鋼管柱
φ114.3×t3.5
中間鋼管柱
φ139.8×t6.0
外側鋼管柱
φ165.2×t3.7

鋼管止め溶接箇所詳細図 1:3 (A1)
1:6 (A3)

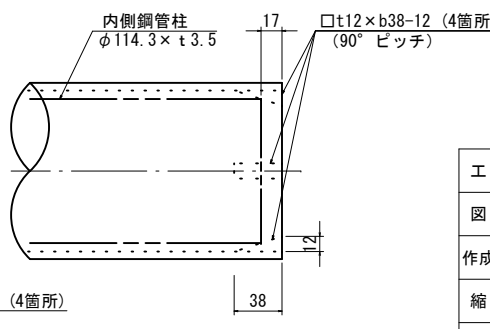
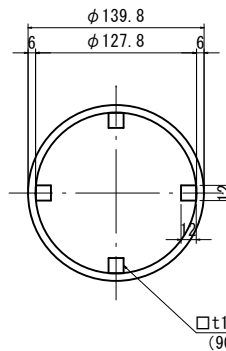
＜内側鋼管（頭部）＞



＜中間鋼管（地盤表面部）＞



＜中間鋼管（底部）＞



工事名	落石対策工事 (R7-1)		
図面名	落石防護柵 端末用支柱構造図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮尺	図示	図面番号	13
会社名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

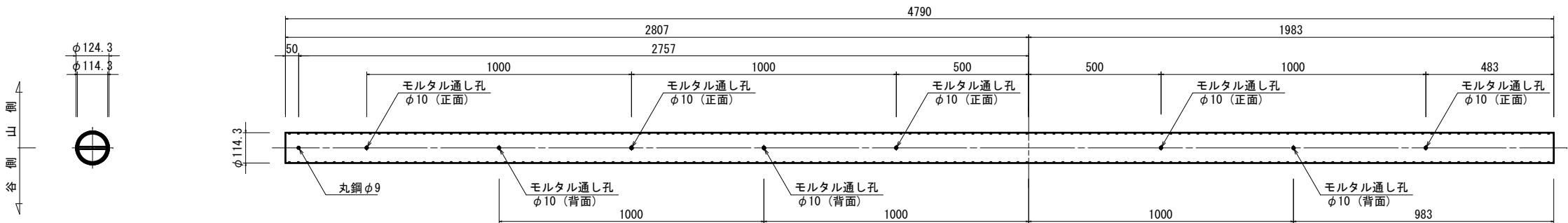
落石防護柵 中間用支柱構造図

(着色仕様)

内側鋼管 (φ114.3×t3.5)

1:10 (A1)

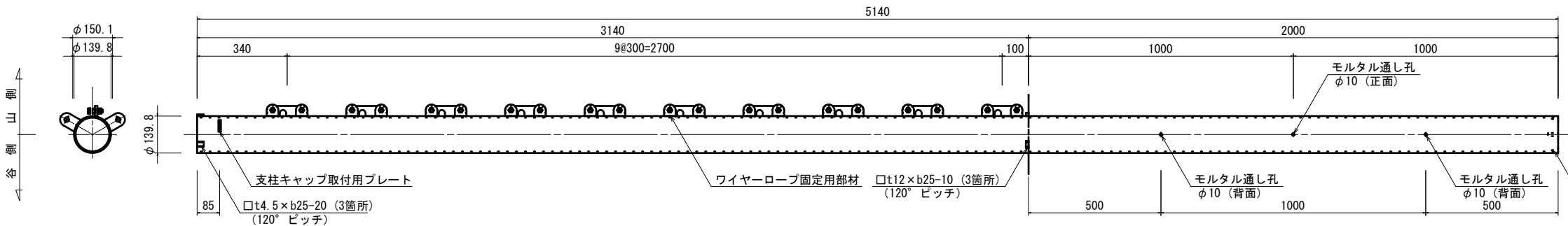
1:20 (A3)



中間鋼管 (φ139.8×t6.0)

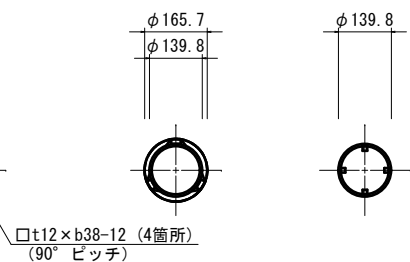
1:10 (A1)

1:20 (A3)



地盤表面部

底部



外側鋼管 (φ165.2×t3.7)

1:10 (A1)

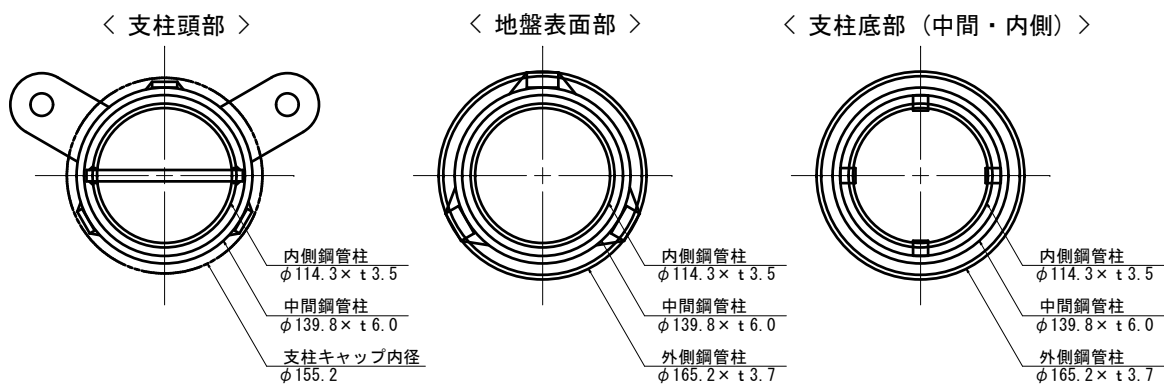
1:20 (A3)

※内側鋼管・中間鋼管モルタル通し孔φ10の配置
正面と背面に1.0m間隔で千鳥配置する。

組合せ断面図

1:3 (A1)

1:6 (A3)



鋼管止め溶接箇所詳細図

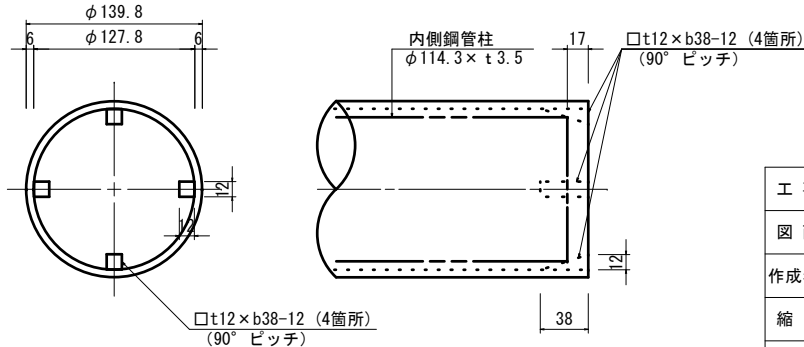
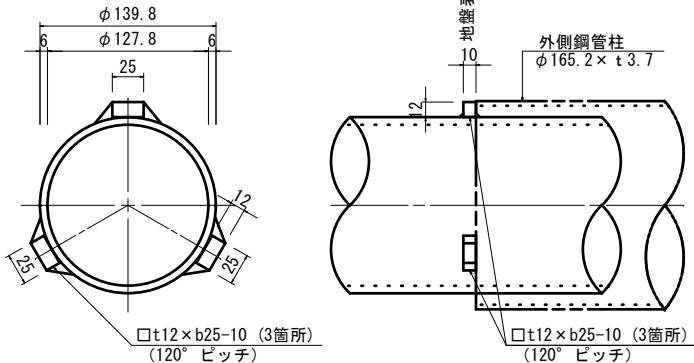
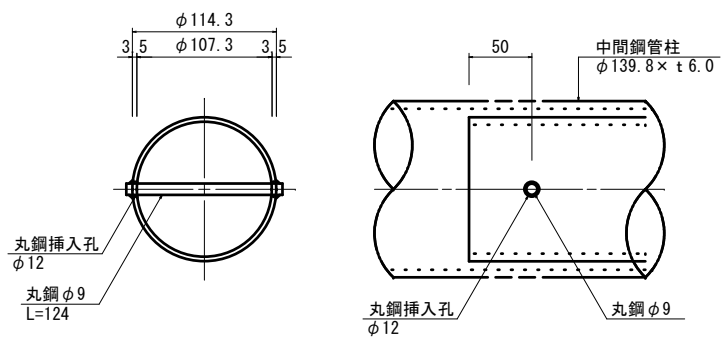
1:3 (A1)

1:6 (A3)

＜内側鋼管（頭部）＞

＜中間鋼管（地盤表面部）＞

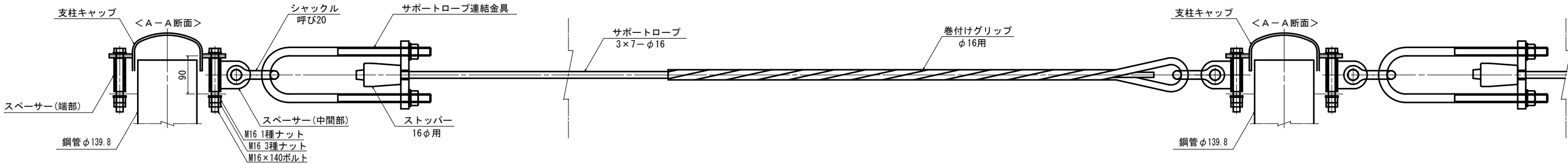
＜中間鋼管（底部）＞



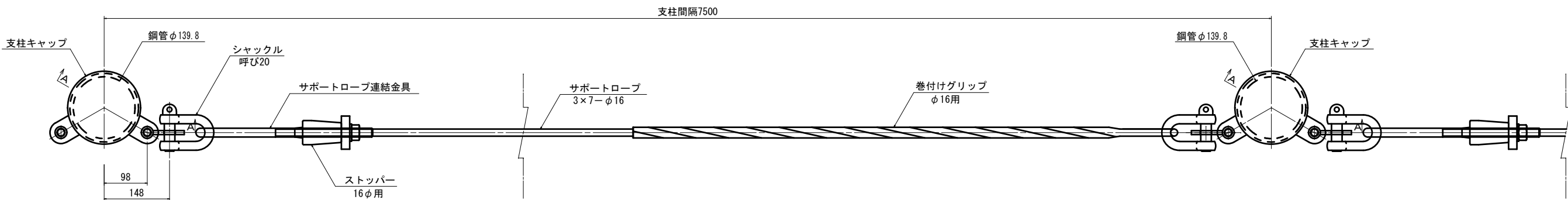
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	落石防護柵 中間用支柱構造図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	14
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

落石防護柵 サポートロープ詳細図

組立正面図 1: 5 (A1)
1:10 (A3)

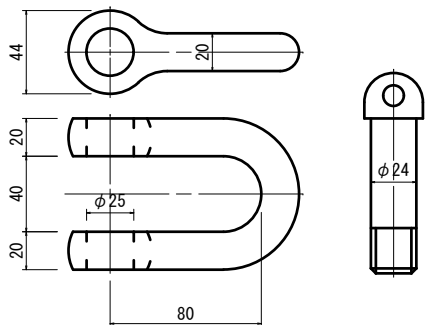


組立平面図 1: 5 (A1)
1:10 (A3)

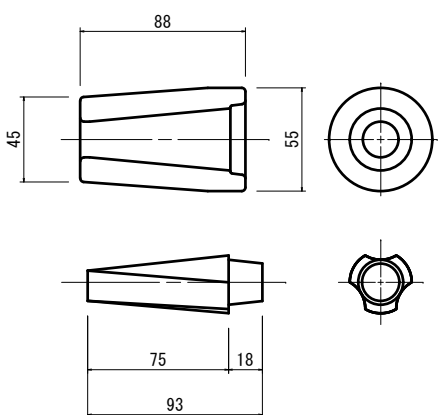


部品詳細図

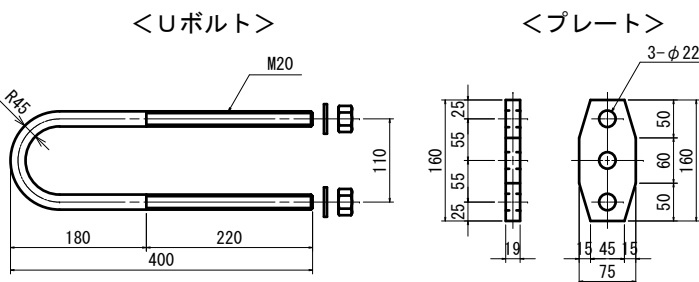
シャックル 1:2 (A1)
1:4 (A3)
呼び20



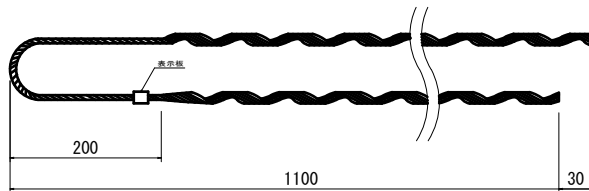
ストッパー 1:2 (A1)
1:4 (A3)
16φ用



サポートロープ連結金具 1: 5 (A1)
1:10 (A3)



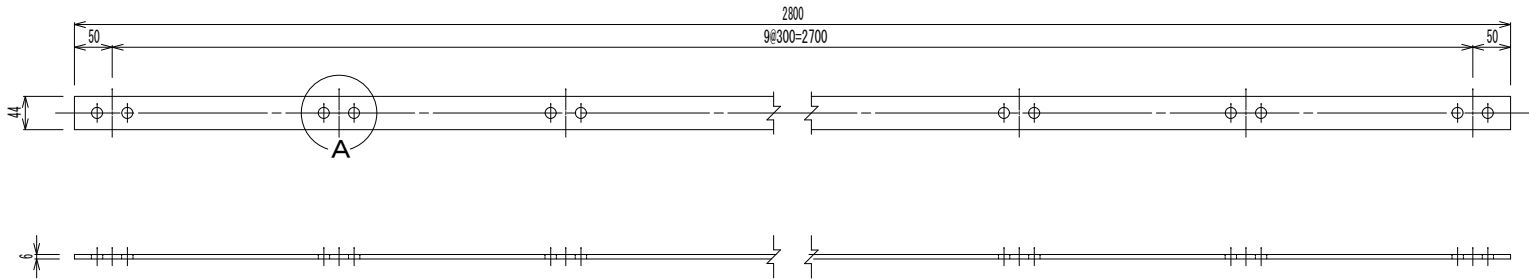
巻付グリップ 1: 5 (A1)
1:10 (A3)
φ16用



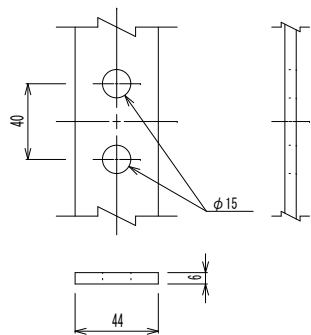
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	落石防護柵 サポートロープ詳細図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	15
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

落石防護柵 間隔保持材詳細図
(着色仕様)

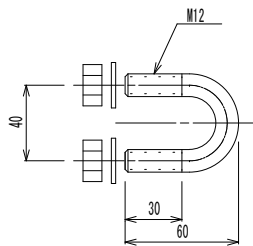
プレート 1: 5 (A1)
1:10 (A3)



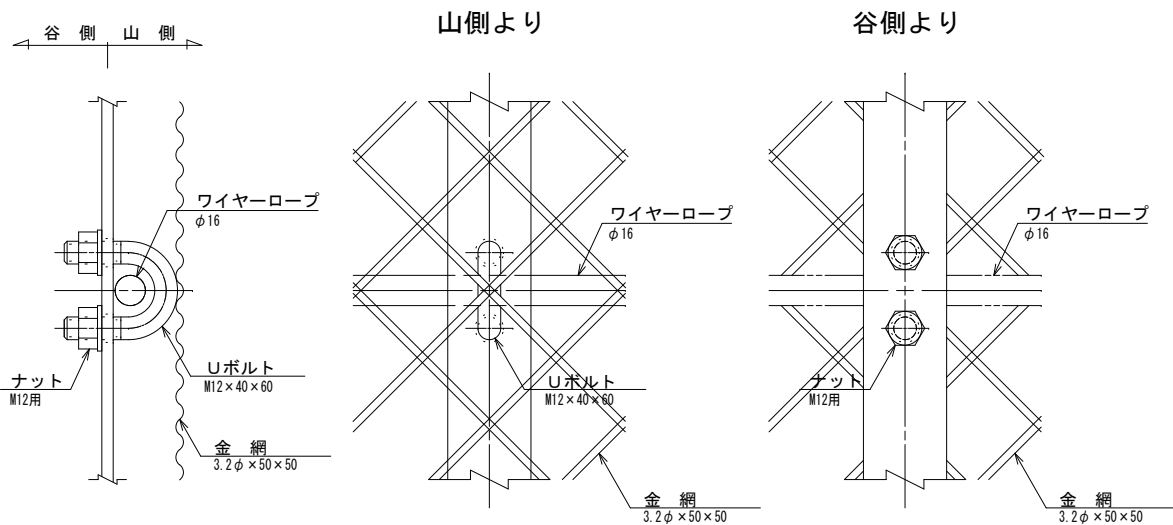
A部詳細図 1:2 (A1)
1:4 (A3)



Uボルト詳細図 1:2 (A1)
1:4 (A3)



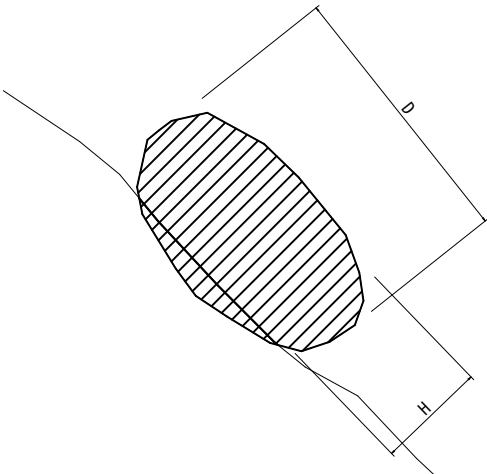
部材組立図 1:2 (A1)
1:4 (A3)



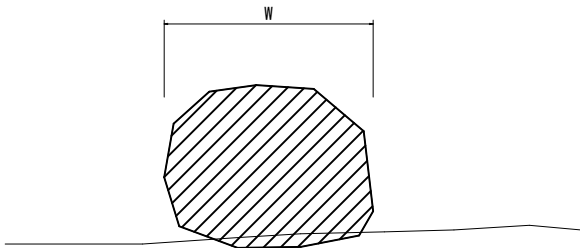
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	落石防護柵 間隔保持材詳細図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	16
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

小割除去工構造図

断面図



正面図

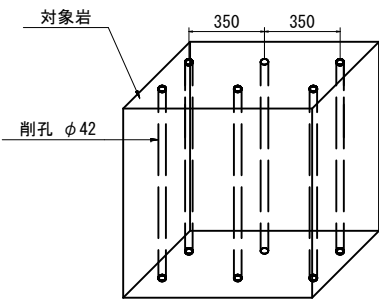


寸法表

番 号	石の大きさ H×W×D (m)	小割除去 (中硬岩) (m3)	摘 要
No. 22	0.3×1.0×0.7	0.21	
No. 59	1.4×1.2×1.0	1.68	
No. 61	1.0×1.6×0.6	0.96	
No. 68	1.2×2.8×2.0	6.72	
No. 69下	2.0×2.0×1.5	6.00	
No. 82	1.5×1.0×0.4	0.60	
	合計	16.17	

静的破碎工詳細図

(中硬岩)



小割除去数量表

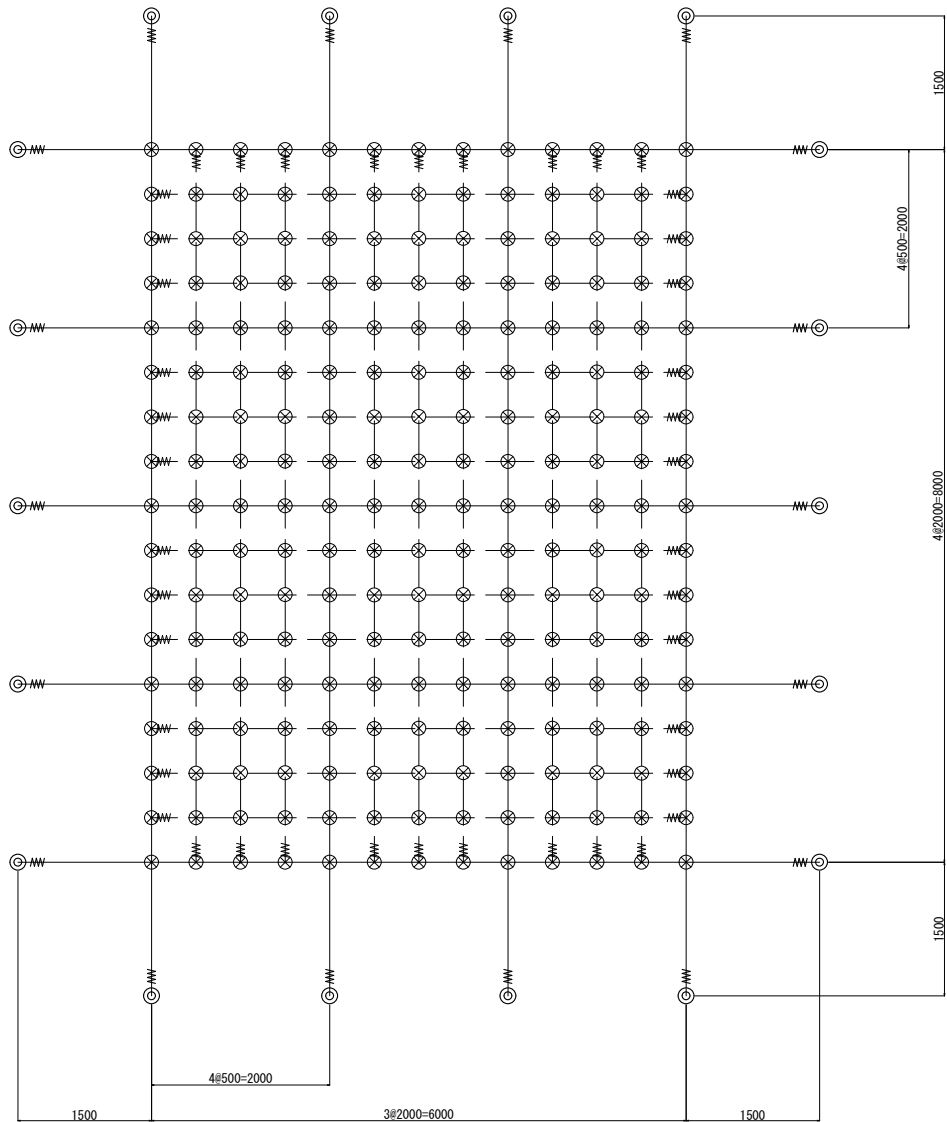
名 称	規 格	単位	数 量	1m3当り 摘 要
削 孔	φ42 L=800	孔	8.16	
静 的 破 砕 剤		kg	15	(2.3kg/m)
人 力 破 砕		m3	1	

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	小割除去工構造図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	-	図面番号	18
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

ロープ伏工構造図 (No. 57)

1:30 (A1)
1:60 (A3)

展開図



部 材 表

符 号	品 名	仕 様 サ イ ズ	数 量	備 考
	縦主ケーブル	3×7 G/O φ18	44 m	
—	横主ケーブル	3×7 G/O φ18	45 m	
↓	縦補助ケーブル	3×7 G/O φ14	72 m	
— ↓	横補助ケーブル	3×7 G/O φ14	72 m	
—●—	巻付グリップ	φ18用	18 本	
—●—	巻付グリップ	φ14用	42 本	
⊙	岩盤用アンカー	D32 (M30) × 1600	18 本	セメントアンカー (端部部)
—●—	クロスクリップ	大	221 ケ	
架 設 面 積			48 m ²	

※特に表記無き部材は、溶融亜鉛めっき+SKポリコート (環境色塗装 (ダークブラウン)) 同等品とします。
アンカーは頭部のみの塗装とします。

落石番号 : No. 57

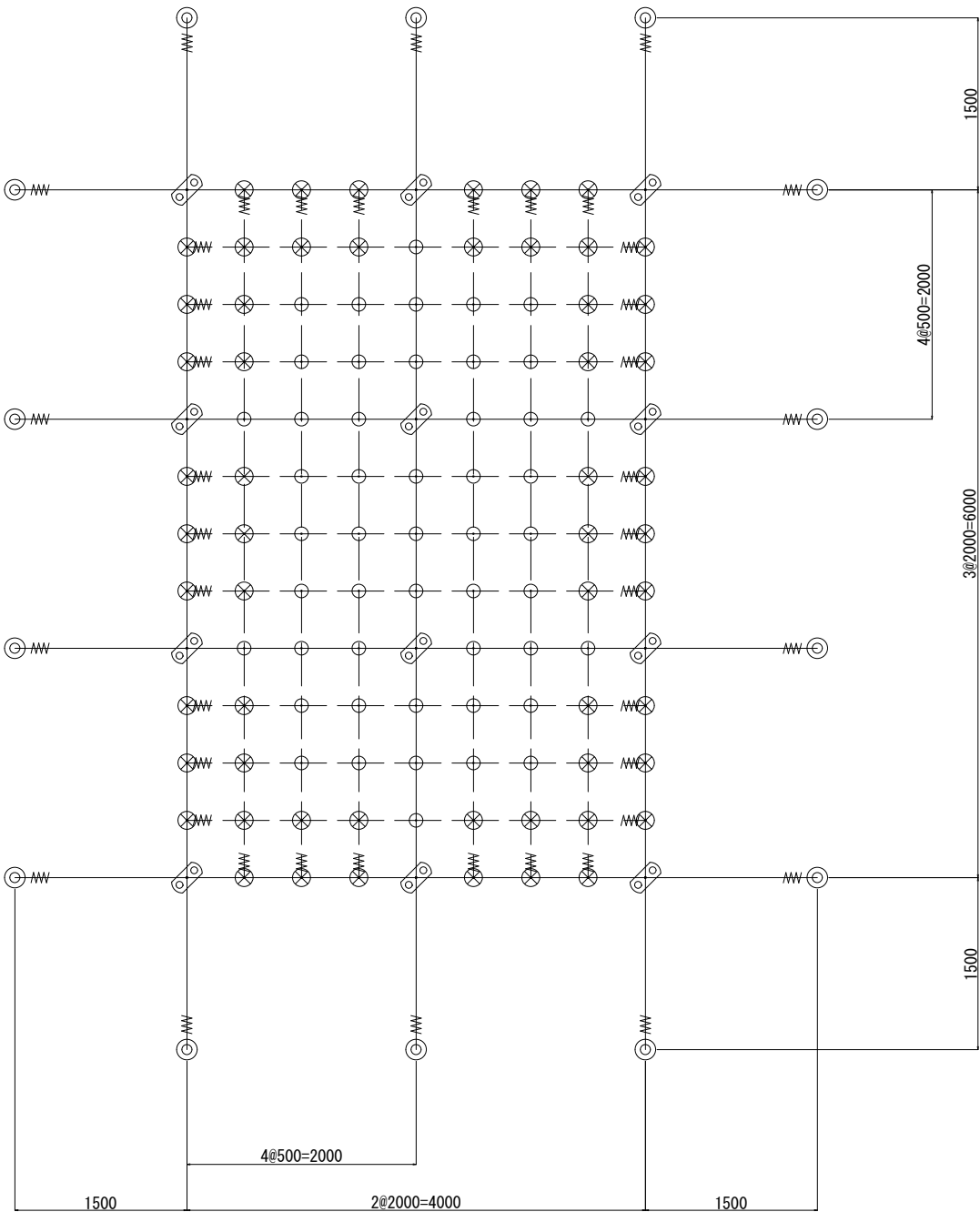
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	ロープ伏工構造図 (No. 57)		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面番号	19
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

ロープ伏工構造図 (No. 78)

1:30 (A1)

1:60 (A3)

展開図



部 材 表

符 号	品 名	仕 様 サ イ ズ	数 量	備 考
	縦主ケーブル	3×7 G/0 φ14	27 m	
—	横主ケーブル	3×7 G/0 φ14	28 m	
	縦補助ケーブル	3×7 G/0 φ12	36 m	
—	横補助ケーブル	3×7 G/0 φ12	36 m	
—	巻付グリップ	φ14用	14 本	
—	巻付グリップ	φ12用	30 本	
◎	岩盤用アンカー	D25 (M24) × 1150	14 本	セメントアンカー (端末部)
●	岩盤用アンカー	D25 (M24) × 1150	12 本	セメントアンカー (中間部)
⊕	クロスクリップ	小	49 ケ	
⊗	クロスクリップ	大	56 ケ	
🔗	アンカークリップ	2-23×45×100	12 ケ	1-M20×65 BN含む
架 設 面 積			24 m ²	

※特に表記無き部材は、溶融亜鉛めっき+SKポリコート (環境色塗装 (ダークブラウン)) 同等品とします。
アンカーは頭部のみの塗装とします。

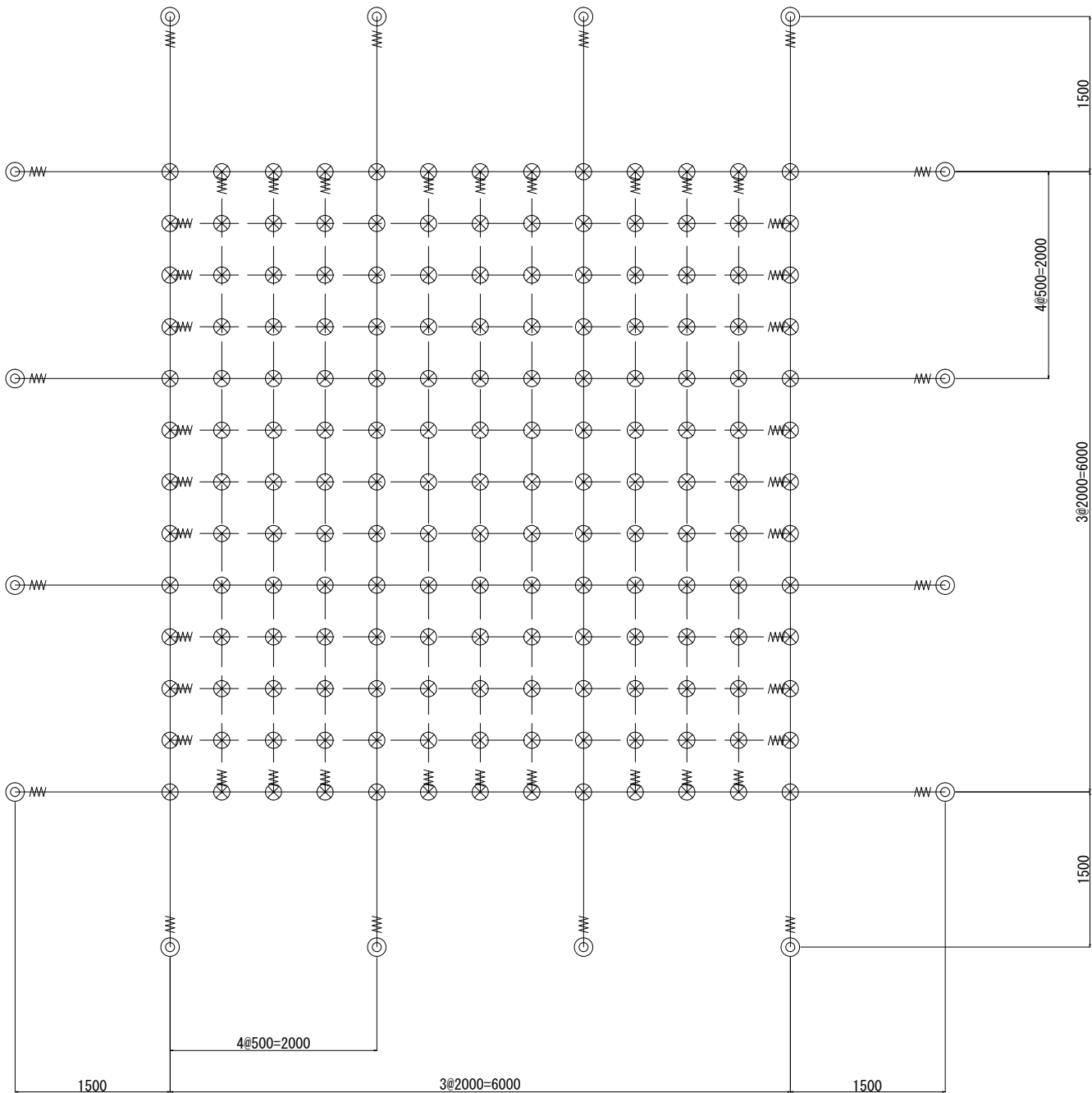
落石番号 : No. 78

工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	ロープ伏工構造図 (No. 78)		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面番号	20
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

ロープ伏工構造図 (No. 79)

1:30 (A1)
1:60 (A3)

展開図



部 材 表

符 号	品 名	仕 様 サ イ ズ	数 量	備 考
	縦主ケーブル	3×7 G/O φ18	36 m	
—	横主ケーブル	3×7 G/O φ18	36 m	
!	縦補助ケーブル	3×7 G/O φ14	54 m	
— —	横補助ケーブル	3×7 G/O φ14	54 m	
—	巻付グリップ	φ18用	16 本	
—	巻付グリップ	φ14用	36 本	
⊙	岩盤用アンカー	D32 (M30) × 1600	16 本	セメントアンカー (端末部)
⊕	クロスクリップ	大	169 ケ	
架 設 面 積			36 m ²	

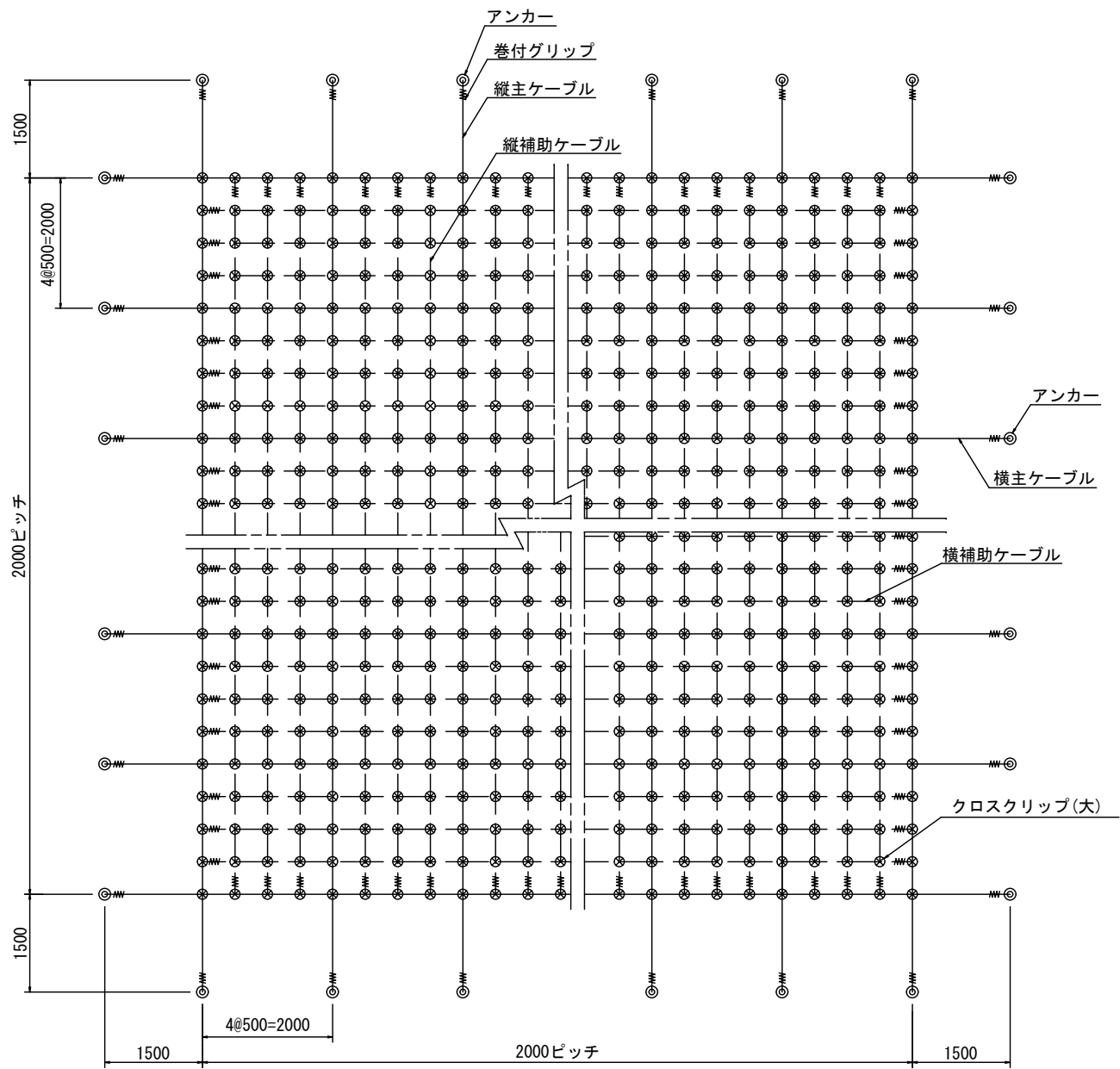
※特に表記無き部材は、溶融亜鉛めっき+SKポリコート(環境色塗装(ダークブラウン))同等品とします。
アンカーは頭部のための塗装とします。

落石番号 : No. 79

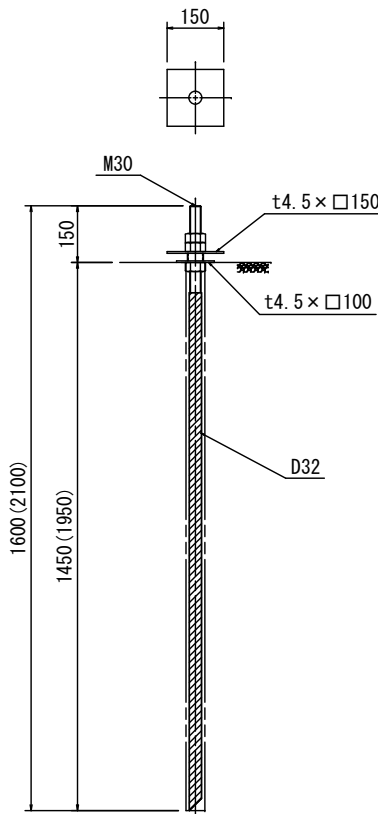
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	ロープ伏工構造図 (No. 79)		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面番号	21
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

ロープ伏工部材詳細図 (No. 57・79)

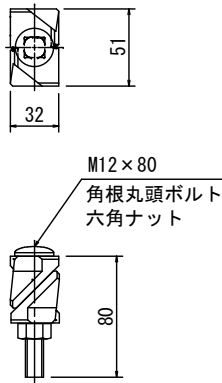
標準割付図 1: 50 (A1)
1: 100 (A3)



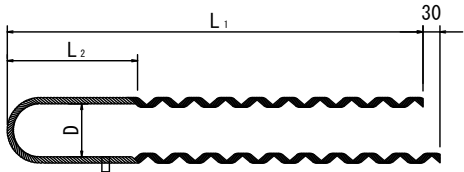
岩盤用アンカー
セメントアンカー 1: 10 (A1)
1: 20 (A3)



クロスクリップ (大) 1: 2.5 (A1)
1: 5 (A3)



巻付グリップ



部 材 表

符 号	品 名	仕 様 サ イ ズ	備 考
	縦主ケーブル	3×7 G/0 φ18	
—	横主ケーブル	3×7 G/0 φ18	
	縦補助ケーブル	3×7 G/0 φ14	
—	横補助ケーブル	3×7 G/0 φ14	
—WM—	巻付グリップ	φ18用	
—WM—	巻付グリップ	φ14用	
◎	岩盤用アンカー	D32×1600 (2100)	セメントアンカー 固着材セット (C-3660S同等品各3本)
—⊗—	クロスクリップ	大	

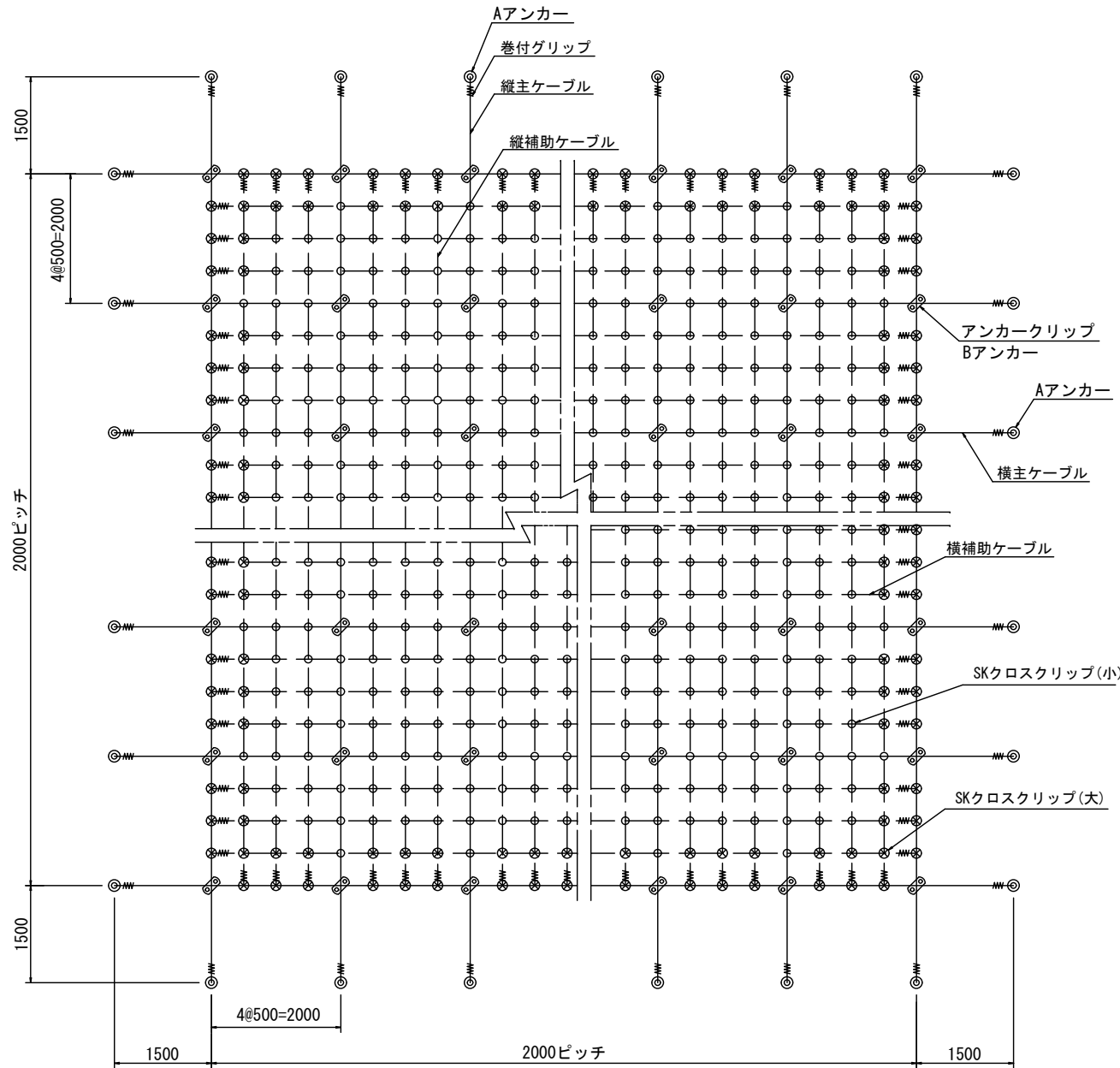
※特に表記無き部材は、溶融亜鉛めっき+SKポリコート (環境色塗装 (ダークブラウン)) 同等品とします。
アンカーは頭部のみの塗装とします。

種 類	適用ワイヤ ロープ径 (mm)	グ リ ッ プ 寸 法				備 考
		構 成 素線径×本	L ₁ (mm)	L ₂ (mm)	D (mm)	
14mm用	3×7 G/0 φ14	3.45×6	1000	200	50	
18mm用	3×7 G/0 φ18	4.20×6	1300	200	50	

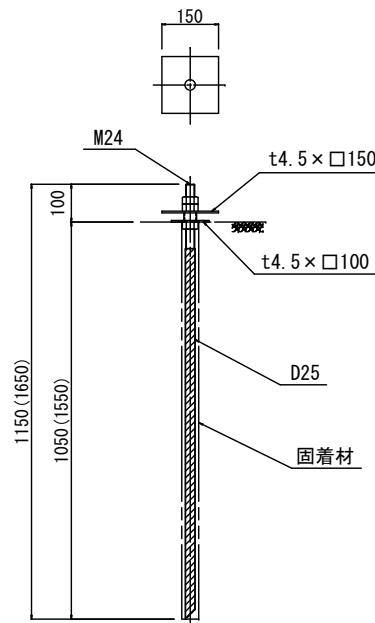
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	ロープ伏工部材詳細図 (No. 57・79)		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	22
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

標準割付図
1: 50 (A1)
1: 100 (A3)

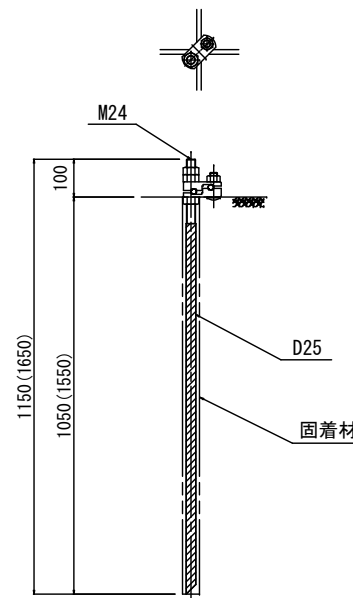
ロープ伏工部材詳細図 (No. 78)



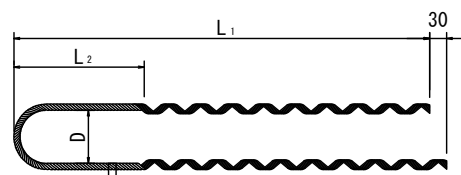
岩盤用アンカー
セメントアンカー (端末部)
1: 10 (A1)
1: 20 (A3)



岩盤用アンカー
セメントアンカー (中間部)
1: 10 (A1)
1: 20 (A3)



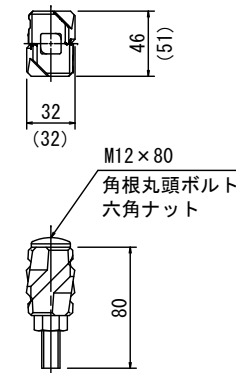
巻付けグリッ



種 類	適用ワイヤ ロープ径 (mm)	グ リ ッ プ 寸 法				備 考
		構 成	L ₁	L ₂	D	
		素線径×本 (mm)	(mm)	(mm)	(mm)	
12mm用	3×7 G/O φ12	2.80×6	900	160	40	
14mm用	3×7 G/O φ14	3.45×6	1000	200	50	

クロスクリップ (小)
クロスクリップ (大)
1: 2.5 (A1)
1: 5 (A3)

S=1/2.5

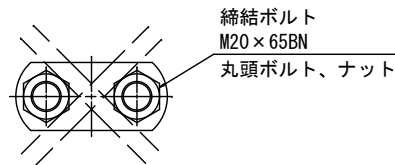


部 材 表

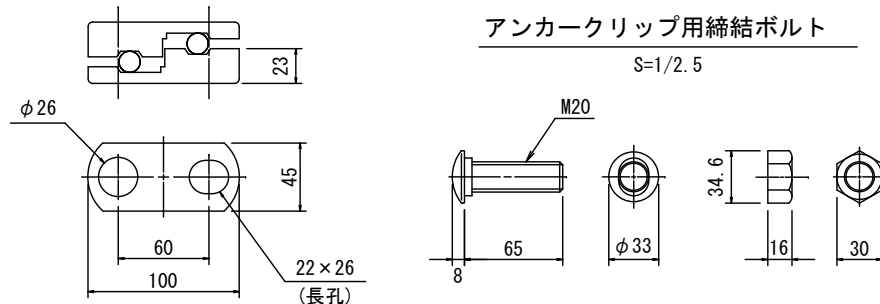
符 号	品 名	仕 様 サ イ ズ	備 考
	縦主ケーブル	3×7 G/O φ14	
—	横主ケーブル	3×7 G/O φ14	
	縦補助ケーブル	3×7 G/O φ12	
—	横補助ケーブル	3×7 G/O φ12	
—WM—	巻付グリッ	φ14用	セメントアンカー (端末部)
—WM—	巻付グリッ	φ12用	補助ケーブル端末部
Aアンカー ◎	岩盤用アンカー	D25×1150 (1650)	セメントアンカー (端末部) 固着材セット (C-3660S同等品 2本 (3本))
Bアンカー ○	岩盤用アンカー	D25×1150 (1650)	セメントアンカー (中間部) 固着材セット (C-3660S同等品 2本 (3本))
—⊕—	クロスクリップ	小	ケーブル同士
—⊗—	クロスクリップ	大	ケーブルと巻付・アイ加工部、巻付同士
◎	アンカークリップ	2-23×45×100 (φ14用)	1-M20×65 B.N. 含む

※特に表記無き部材は、溶融亜鉛めっき+SKポリコート (環境色塗装 (ダークブラウン)) 同等品とします。
アンカーは頭部のみの塗装とします。

アンカークリップ (φ14用)
1: 2.5 (A1)
1: 5 (A3)



アンカークリップ用締結ボルト
S=1/2.5

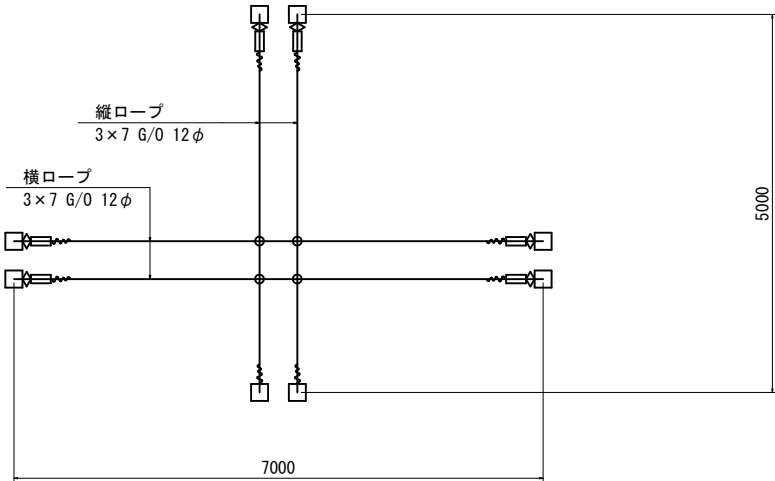


工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	ロープ伏工部材詳細図 (No. 78)		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	図示	図面番号	23
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

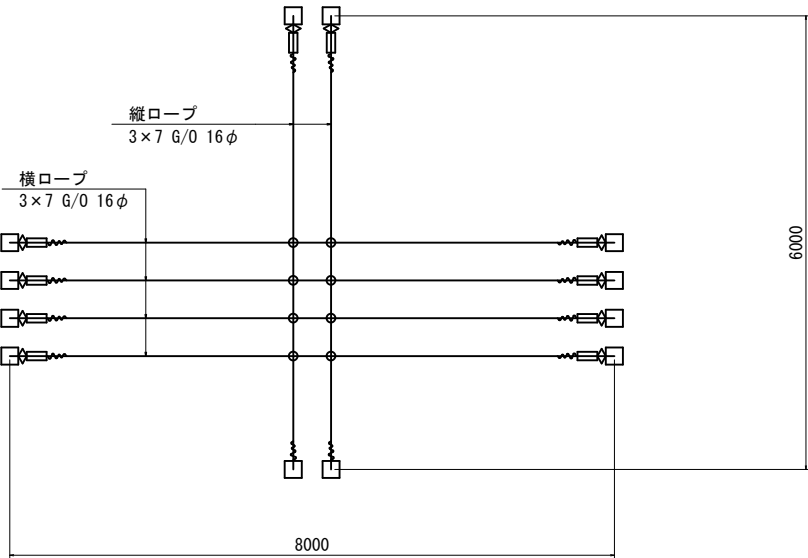
ロープ掛け工展開図

1: 50 (A1)
1:100 (A3)

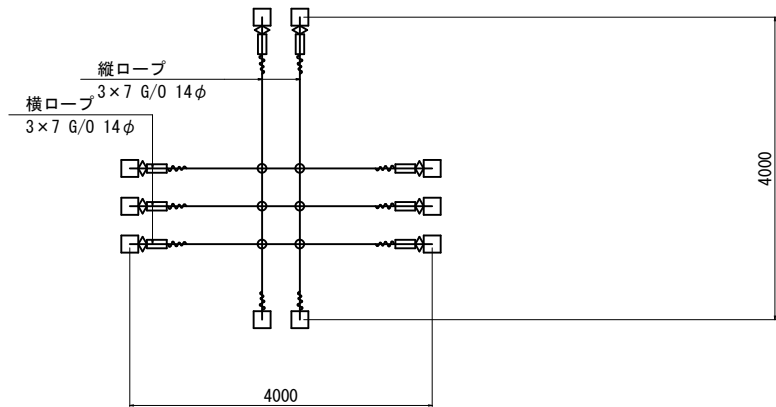
ロープ掛け工
(No. 75)



ロープ掛け工
(No. 76)



ロープ掛け工
(No. 83)



数量表

1式当り

名 称	規 格	単位	数 量	記 号
縦ロープ	3×7 G/O 12φ	m	10.0	
横ロープ	3×7 G/O 12φ	m	14.0	—
岩部用アンカー	D22 (M20) ×1000	本	8	□
巻付グリップ	12φ用×1000	本	8	≡
クロスクリップ	3.2t×60×60	個	4	○
ターンバックル	22φ	本	6	□
ターンバックル取付金具	岩部用アンカー用	個	6	◇

数量表

1式当り

名 称	規 格	単位	数 量	記 号
縦ロープ	3×7 G/O 16φ	m	12.0	
横ロープ	3×7 G/O 16φ	m	32.0	—
岩部用アンカー	D29 (M27) ×1000	本	12	□
巻付グリップ	16φ用×1400	本	12	≡
クロスクリップ	4.5t×75×60	個	8	○
ターンバックル	25φ	本	10	□
ターンバックル取付金具	岩部用アンカー用	個	10	◇

数量表

1式当り

名 称	規 格	単位	数 量	記 号
縦ロープ	3×7 G/O 14φ	m	8.0	
横ロープ	3×7 G/O 14φ	m	12.0	—
岩部用アンカー	D25 (M24) ×1000	本	10	□
巻付グリップ	14φ用×1300	本	10	≡
クロスクリップ	3.2t×60×60	個	6	○
ターンバックル	22φ	本	8	□
ターンバックル取付金具	岩部用アンカー用	個	8	◇

(注 記) 起工測量により、対象岩の状況等を確認し、仕様を再度検討し、施工すること。
(設計条件) 横ロープ取付角度30°、削孔径φ40
アンカーの必要定着長は、風化岩相当にL=40cm以上。

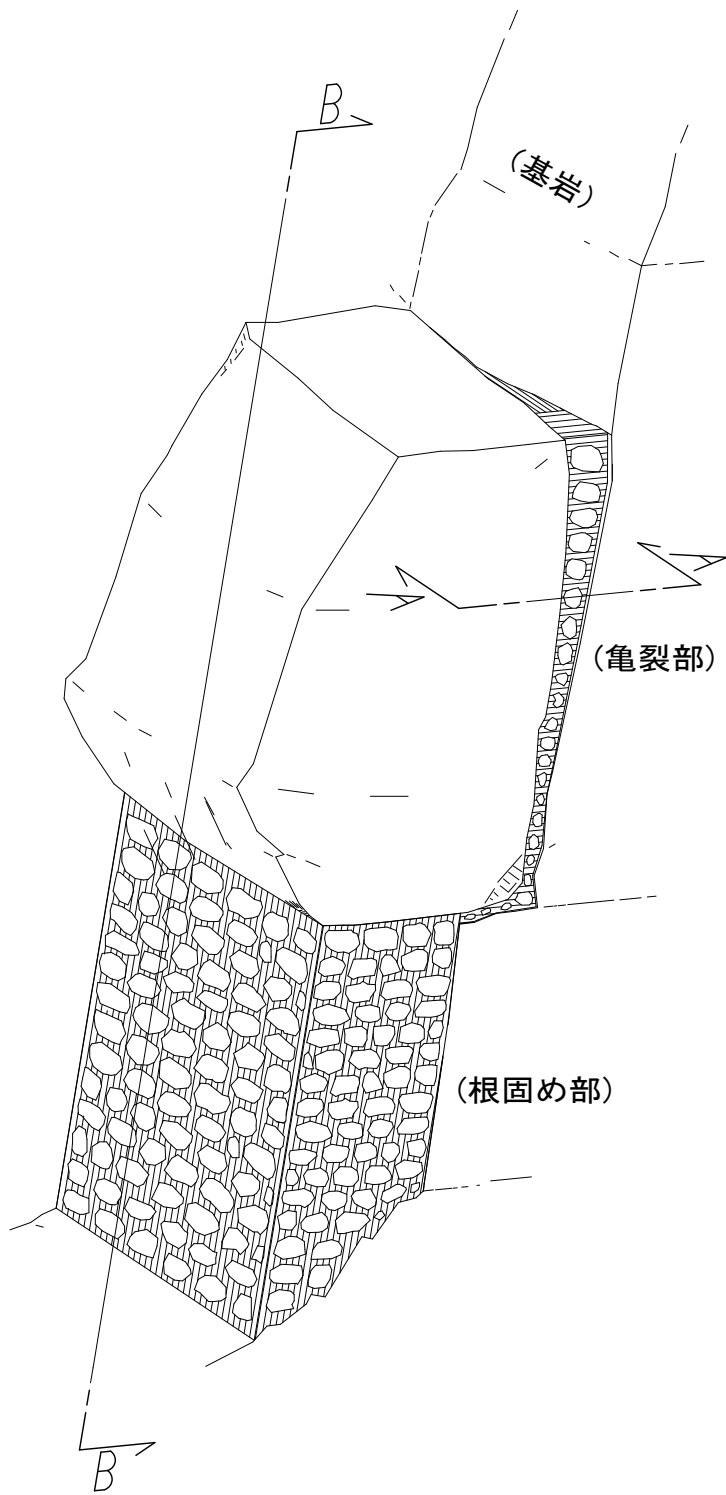
(注 記) 起工測量により、対象岩の状況等を確認し、仕様を再度検討し、施工すること。
(設計条件) 横ロープ取付角度30°、削孔径φ40
アンカーの必要定着長は、風化岩相当にL=50cm以上。

(注 記) 起工測量により、対象岩の状況等を確認し、仕様を再度検討し、施工すること。
(設計条件) 横ロープ取付角度30°、削孔径φ40
アンカーの必要定着長は、風化岩相当にL=50cm以上。

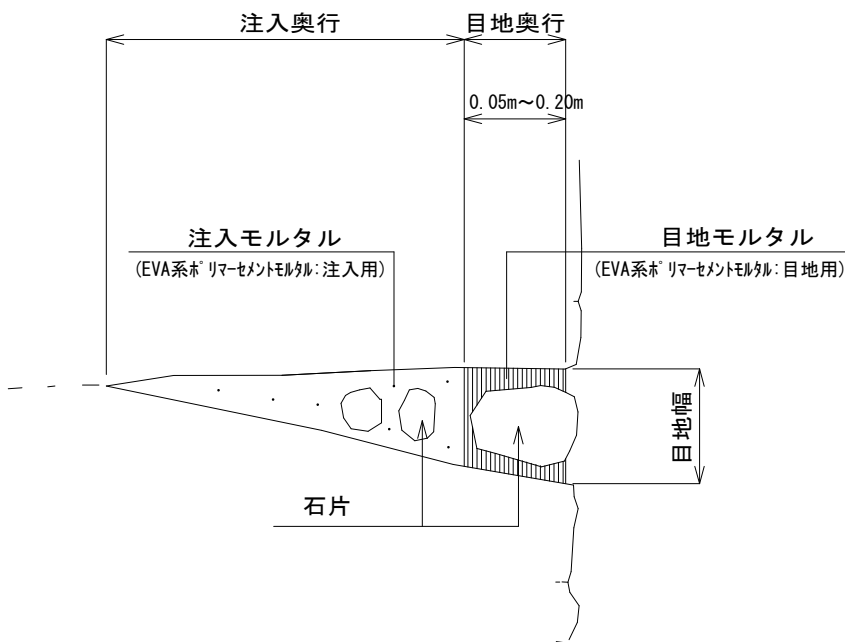
工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	ロープ掛け工展開図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1: 50 (A1) 1:100 (A3)	図面番号	24
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

岩接着工 一般図

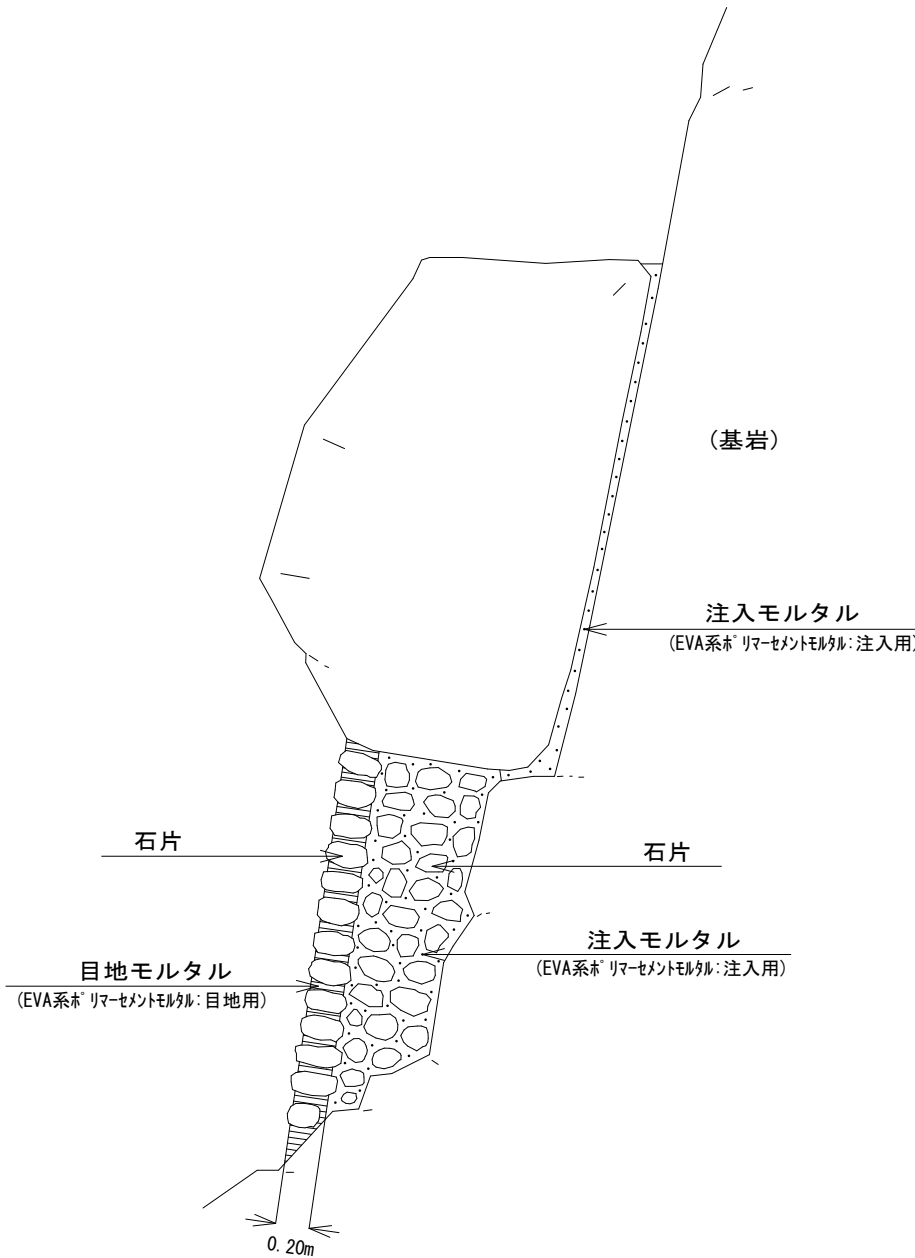
施工概要図



(A～A)
亀裂部断面図



(B～B)
根固め部断面図



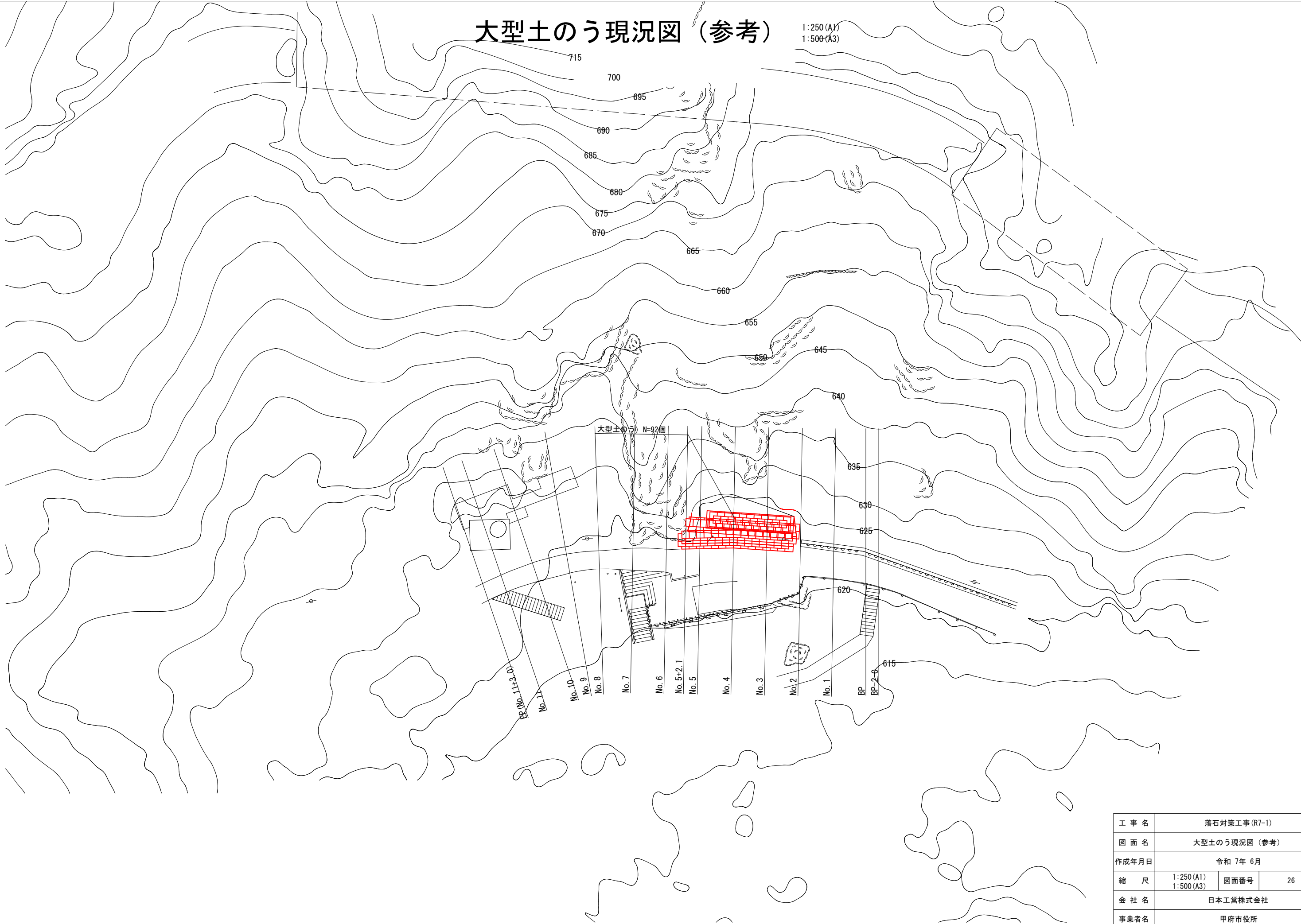
【品質管理項目と基準値】（参考）

試験項目	目地モルタル	注入モルタル
引張接着強さ試験	0.25N/mm2以上	0.25N/mm2以上
単位容積質量試験	2.01kg/ℓ ± 5 %	1.87kg/ℓ ± 3 %

工事名	落石対策工事 (R7-1)		
図面名	岩接着工 一般図		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮尺	-	図面番号	25
会社名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		

大型土のう現況図（参考）

1:250 (A1)
1:500 (A3)



工 事 名	落石対策工事 (R7-1)		
図 面 名	大型土のう現況図（参考）		
作成年月日	令和 7年 6月		
縮 尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	図面番号	26
会 社 名	日本工営株式会社		
事業者名	甲府市役所		